

資料 図表 1 看護管理者調査：基本統計

表 1- 1 都道府県所在地 (n=1,266)

都道府県	施設数	割合	都道府県	施設数	割合
北海道	102	8.1%	滋賀	13	1.0%
青森	19	1.5%	京都	28	2.2%
岩手	23	1.8%	大阪	61	4.8%
宮城	15	1.2%	兵庫	48	3.8%
秋田	10	0.8%	奈良	16	1.3%
山形	13	1.0%	和歌山	19	1.5%
福島	22	1.7%	鳥取	4	0.3%
茨城	28	2.2%	島根	14	1.1%
栃木	16	1.3%	岡山	29	2.3%
群馬	19	1.5%	広島	35	2.8%
埼玉	48	3.8%	山口	28	2.2%
千葉	46	3.6%	徳島	8	0.6%
東京	94	7.4%	香川	16	1.3%
神奈川	70	5.5%	愛媛	21	1.7%
新潟	27	2.1%	高知	10	0.8%
富山	13	1.0%	福岡	49	3.9%
石川	17	1.3%	佐賀	14	1.1%
福井	10	0.8%	長崎	24	1.9%
山梨	9	0.7%	熊本	33	2.6%
長野	21	1.7%	大分	21	1.7%
岐阜	17	1.3%	宮崎	13	1.0%
静岡	15	1.2%	鹿児島	20	1.6%
愛知	43	3.4%	沖縄	14	1.1%
三重	18	1.4%	無回答	13	1.0%

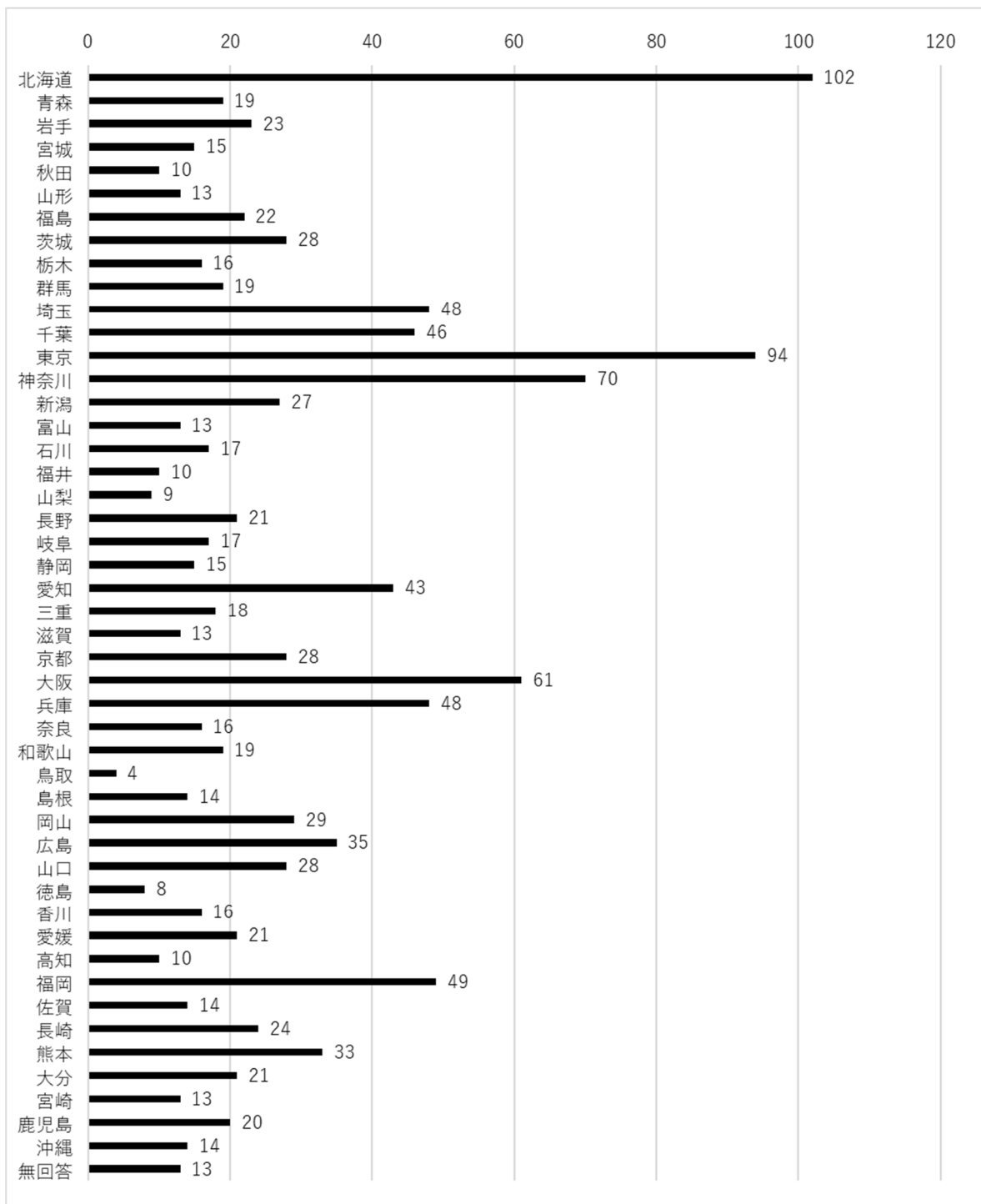


図 1-1 都道府県所在地 ( n=1,266 )

表 1-2 設置主体 (n=1,266)

	施設数	割合
国等（独立行政法人含む）	91	7.2%
都道府県・市区町村	243	19.2%
その他の公的団体	82	6.5%
社会保険関係団体	7	0.6%
私立学校法人	25	2.0%
公益法人	77	6.1%
医療法人（社会医療法人含む）	661	52.2%
個人	16	1.3%
その他	46	3.6%
無回答	18	1.4%

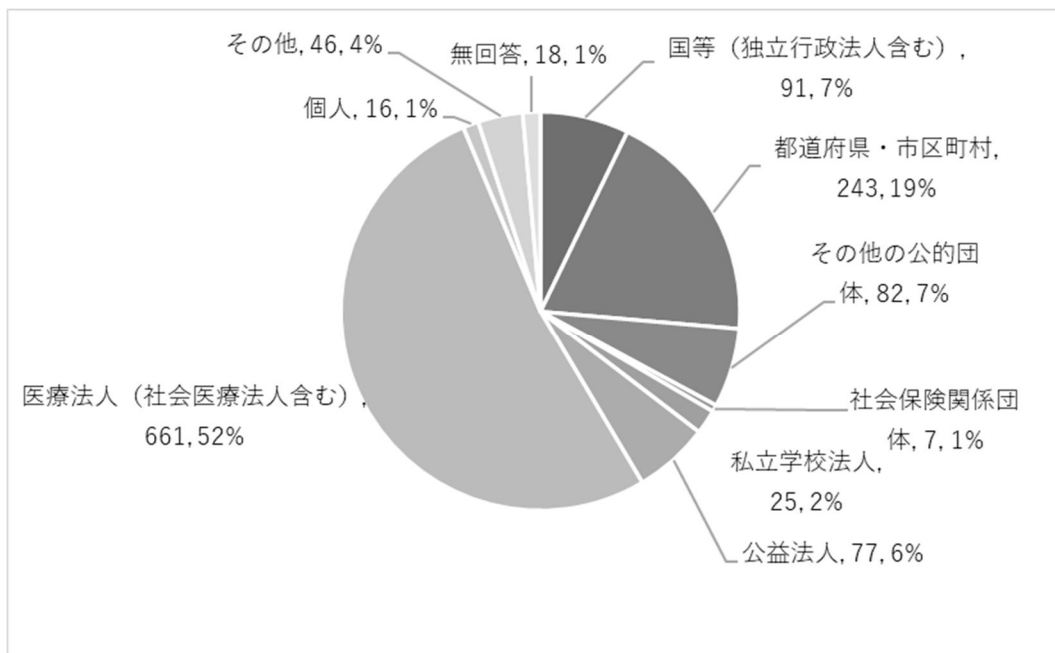


図 1-2 設置主体 (n=1,266)

表 1-3 施設種別 (n=1,266)

	施設数	割合
特定機能病院	33	2.6%
地域医療支援病院	204	16.1%
精神病院 (精神科病棟のみを有する病院)	76	6.0%
その他の一般病院	924	73.0%
その他	11	0.9%
無回答	18	1.4%

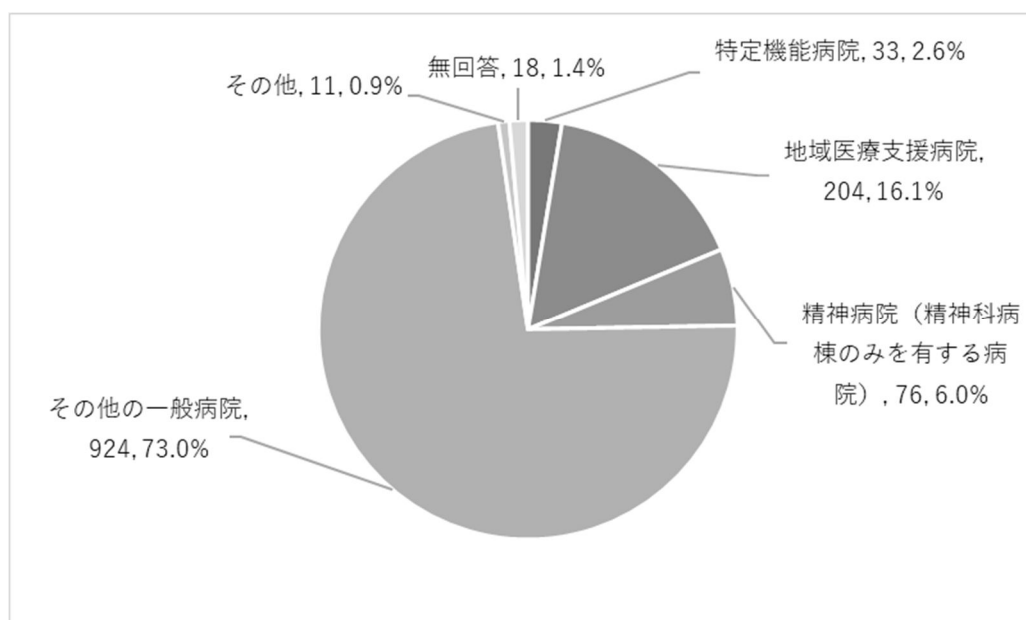


図 1-3 施設種別 (n=1,266)

表 1- 4 介護保険適用病床の有無 ( n=1,266 )

	施設数	割合
あり	74	5.8%
なし	1,188	93.8%
無回答	4	0.3%

表 1- 5 介護保険適用病床の数 ( n=74 )

平均	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
53.0	43.6	1.0	0.3	39.5	60.0	233.0

表 1- 6 介護保険適用病床数の分布 ( n=74 )

	施設数	割合
20 床未満	14	18.9%
20-39 床	23	31.1%
40-59 床	15	20.3%
60-79 床	7	9.5%
80-99 床	5	6.8%
100 床以上	10	13.5%

表 1- 7 許可病床数 ( n=1,266 )

	施設数	割合
49 床以下	72	5.7%
50 ~ 99 床	281	22.2%
100 ~ 199 床	414	32.7%
200 ~ 399 床	319	25.2%
400 床以上	180	14.2%
無回答	0	0.0%

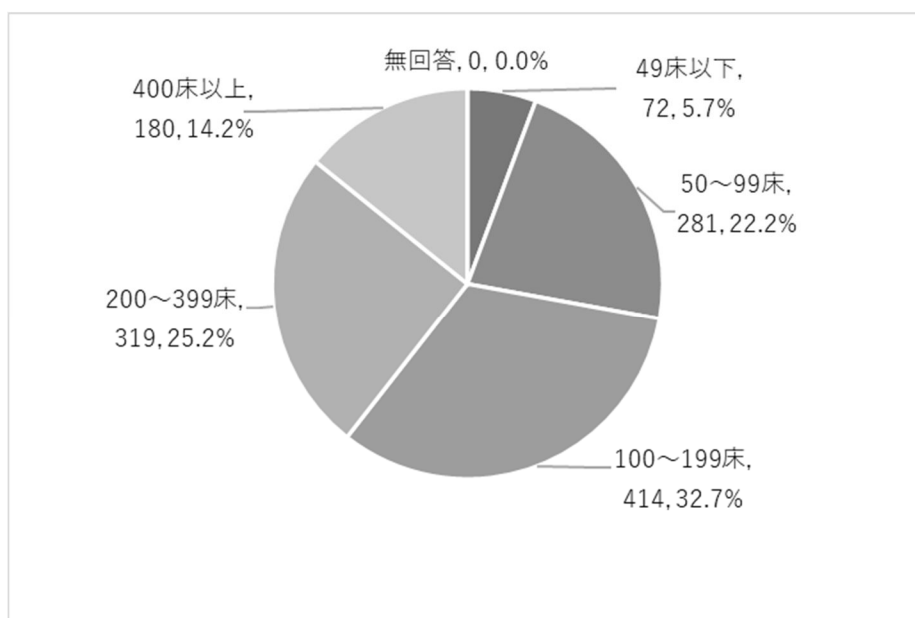


图 1- 4 許可病床数 ( n=1,266 )

表 1- 8 平均病床稼働率 ( n=1,233 )

平均	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
83.5	13.1	12.0	78.0	85.6	93.0	126.8

表 1- 9 平均病床稼働率分布 ( n=1,266 )

	施設数	割合
70%未満	136	10.7%
70%以上 80%未満	219	17.3%
80%以上 90%未満	410	32.4%
90%以上 95%未満	240	19.0%
95%以上	228	18.0%
無回答	33	2.6%

表 1- 10 算定している病棟入院基本料・特定入院料 (n=1,266)

	施設数	割合
急性期一般入院料 1	416	32.9%
急性期一般入院料 2～5	281	22.2%
急性期一般入院料 6・7	97	7.7%
地域一般入院料 1・2	77	6.1%
地域一般入院料 3	62	4.9%
療養病棟入院基本料	360	28.4%
精神病棟入院基本料	135	10.7%
特定機能病院入院基本料	32	2.5%
専門病院入院基本料	7	0.6%
障害者施設等入院基本料	160	12.6%
救命救急入院料	76	6.0%
集中治療・ハイケアユニット入院医療管理料等	236	18.6%
小児入院医療管理料	172	13.6%
回復期リハビリテーション病棟入院料 1・2	192	15.2%
回復期リハビリテーション病棟入院料 3～6	94	7.4%
地域包括ケア病棟入院料・医療管理料	429	33.9%
緩和ケア病棟入院料	117	9.2%
その他	82	6.5%



表 1- 11 看護補助者の雇用形態（複数回答、n=1,266）

	施設数	割合
正規職員として直接雇用	975	77.0%
非正規職員として直接雇用	1,045	82.5%
派遣職員	268	21.2%
看護補助業務を業務委託	47	3.7%
現在、看護補助者を活用していない	13	1.0%

非正規職員とは、パート、アルバイト、非常勤嘱託などの非常勤職員。

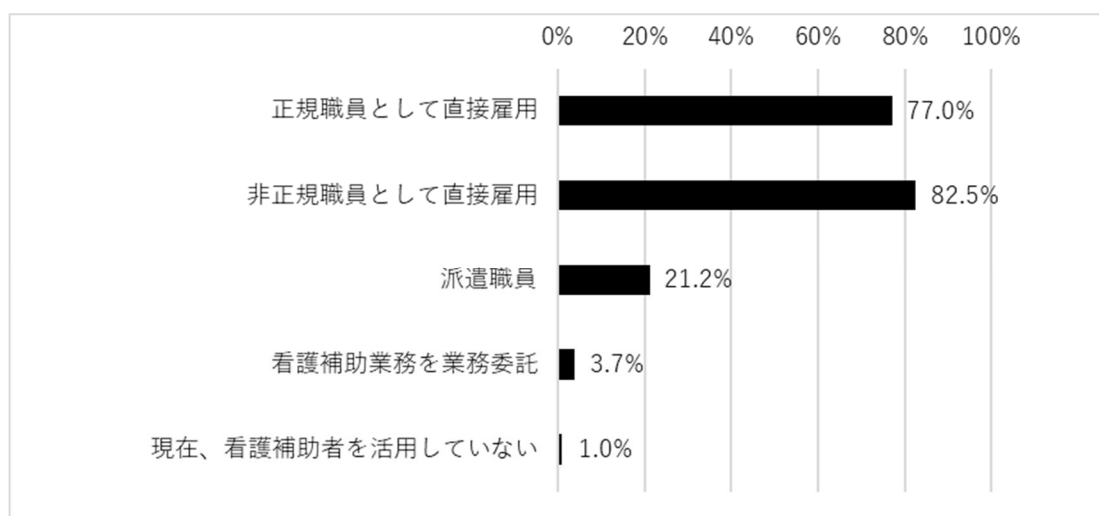


図 1- 5 看護補助者の雇用形態（複数回答、n=1,266）

表 1- 12 看護補助者の雇用形態パターン (n=1,266)

	施設数	割合
正規職員のみ	173	13.7%
正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)	802	63.3%
非正規職員のみ	233	18.4%
非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)	38	3.0%
派遣職員 or 業務委託	7	0.6%
現在、看護補助者を活用していない	13	1.0%

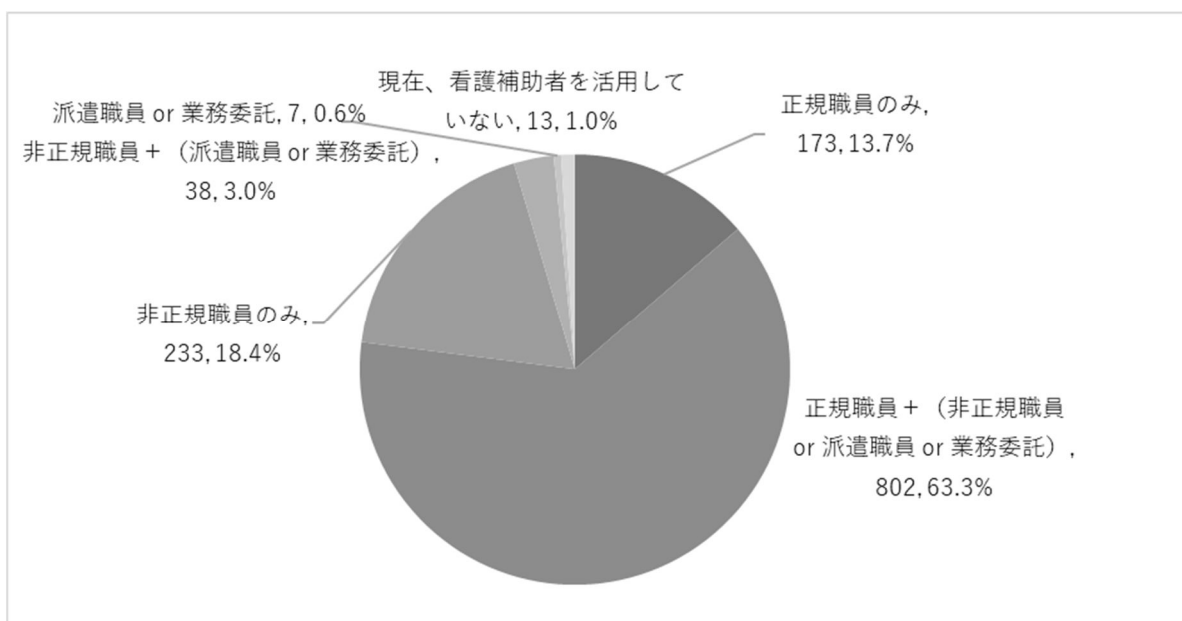


図 1- 6 看護補助者の雇用形態パターン (n=1,266)

表 1- 13 看護補助者の組織上の位置づけ (n=1,253)

		施設数	割合
看護部	看護部直下	254	20.3%
	看護部門内の病棟等	957	76.4%
	看護部門内の看護補助者だけの部署	23	1.8%
看護部以外	看護部門とは異なる看護補助者だけの部門	7	0.6%
	その他	7	0.6%
	無回答	5	0.4%

集計対象は、問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。

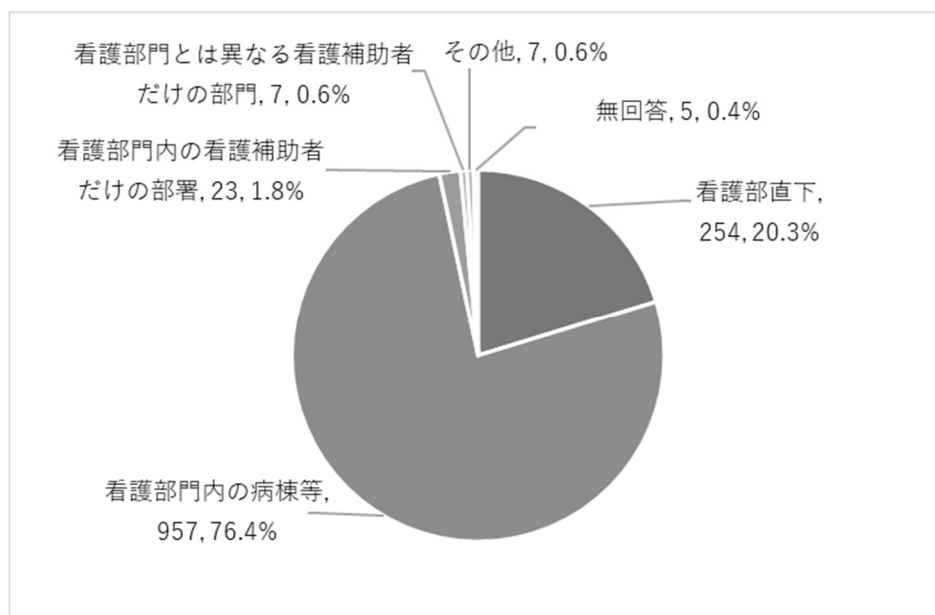


図 1- 7 看護補助者の組織上の位置づけ (n=1,253)

表 1- 14 看護補助者の職名 ( n=1,253 )

	施設数	割合
看護補助者	582	46.4%
看護助手	371	29.6%
看護アシスタント	14	1.1%
ナースエイド	37	3.0%
ケアワーカー	102	8.1%
その他	145	11.6%
無回答	2	0.2%

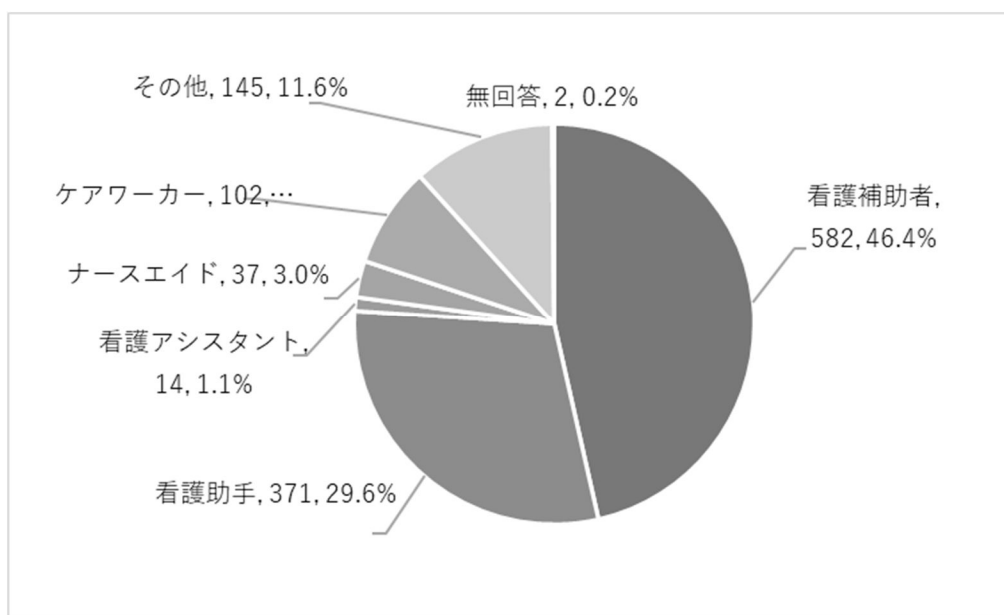


図 1- 8 看護補助者の職名 ( n=1,253 )

表 1- 15 看護補助者（無資格者）の職名・その他の自由記述

	施設数
介護士	20
ケアサポーター	9
ヘルパー	9
ケアスタッフ	8
ナースアシスタント	6
介護員	6
介護職	6
生活支援員	6
業務技術員	5

5 名以上が回答したもののみ。

表 1- 16 勤務者数 (n=795)

	合計	平均値	標準偏 差	最小値	第一四 分位	中央値	第三四 分位	最大値
直接雇用 (正規)								
常勤換算人数	12,997.2	16.3	17.8	0.0	2.0	12.0	25.0	118.0
実人数 (総数)	13,181	16.6	17.9	0.0	2.0	12.0	25.0	118.0
介護福祉士資格を有する看護補助者数 (再掲)	4,653	5.9	9.3	0.0	0.0	2.0	8.0	73.0
学生数 (再掲)	132	0.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0
直接雇用 (非正規)								
常勤換算人数	8,159.1	10.3	14.6	0.0	1.2	4.8	13.0	148.0
実人数 (総数)	10,308	13.0	17.8	0.0	2.0	7.0	16.0	148.0
介護福祉士資格を有する看護補助者数 (再掲)	745	0.9	2.6	0.0	0.0	0.0	1.0	44.0
学生数 (再掲)	816	1.0	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	54.0
派遣職員								
常勤換算人数	1,293.9	1.6	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2
実人数 (総数)	1,479	1.9	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
介護福祉士資格を有する看護補助者数 (再掲)	25	0.03	0.26	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
学生数 (再掲)	42	0.05	0.70	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0
業務委託 (看護職が直接指示)								
常勤換算人数	389.9	0.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	72.0
実人数 (総数)	439	0.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
介護福祉士資格を有する看護補助者数 (再掲)	4	0.01	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
学生数 (再掲)	8	0.01	0.21	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問10で常勤換算人数、介護福祉士資格を有する看護補助者数、学生数がともに実人数全体以下
- 4) 問10で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 17 雇用形態別常勤換算人数、実人数の合計数 (n=795)

	常勤換算人数	実人数	
		総数	(再掲) 学生数
直接雇用(正規)	12,997.2	13,181	132
直接雇用(非正規)	8,159.1	10,308	816
派遣職員	1,293.9	1,479	42
業務委託 (看護職が直接指示)	389.9	439	8
全体	22,840.1	25,407	998

表 1- 18 雇用形態別 学生数が総数に占める割合 (n=795)

	学生数 / 総数
直接雇用(正規)	1.0%
直接雇用(非正規)	7.9%
派遣職員	2.8%
業務委託(看護職が直接指示)	1.8%
全体	3.9%

表 1- 19 雇用形態別常勤換算人数、実人数の構成割合 (n=795)

	常勤換算人数	実人数	
		総数	(再掲) 学生数
直接雇用(正規)	56.9%	51.9%	13.2%
直接雇用(非正規)	35.7%	40.6%	81.8%
派遣職員	5.7%	5.8%	4.2%
業務委託 (看護職が直接指示)	1.7%	1.7%	0.8%
全体	100.0%	100.0%	100.0%



表 1- 20 急性期一般入院料 1 を算定している施設の雇用形態別常勤換算人数 (n=795)

	急性期一般 入院料 1 の 有無	施設数	合計	平均 値	標準 偏差	最小 値	第一四 分位	中央 値	第三四 分位	最大値
直接雇用 (正規)	なし	523	8,788.1	16.8	17.0	0.0	4.0	12.5	25.0	112.0
	あり	272	4,209.2	15.5	19.3	0.0	0.0	9.0	25.7	118.0
直接雇用 (非正規)	なし	523	3,557.0	6.8	11.1	0.0	1.0	3.4	8.0	148.0
	あり	272	4,602.2	16.9	18.0	0.0	2.9	11.8	26.0	107.0
派遣職員	なし	523	502.2	1.0	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2
	あり	272	791.7	2.9	6.7	0.0	0.0	0.0	2.0	38.0
業務委託 (看護職が 直接指示)	なし	523	5.0	0.01	0.22	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	あり	272	3.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
合計	なし	523	13,022.9	24.9	21.3	0.0	11.3	20.0	31.8	198.2
	あり	272	9,817.2	36.1	22.8	0.0	20.0	31.8	46.1	170.9

表 1- 21 急性期一般入院料 2～5 を算定している施設の雇用形態別常勤換算人数 (n=795)

	急性期一般 入院料 2～ 5の有無	施設数	合計	平均 値	標準 偏差	最小 値	第一四 分位	中央 値	第三四 分位	最大値
直接雇用 (正規)	なし	611	10,543.9	17.3	18.9	0.0	2.0	12.0	26.0	118.0
	あり	184	2,453.4	13.3	13.1	0.0	1.0	11.2	21.0	71.0
直接雇用 (非正規)	なし	611	6,610.1	10.8	15.9	0.0	1.0	4.6	14.0	148.0
	あり	184	1,549.0	8.4	9.0	0.0	2.0	5.2	11.1	43.4
派遣職員	なし	611	1,237.8	2.0	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2
	あり	184	56.1	0.3	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	13.1
業務委託 (看護職が 直接指示)	なし	611	8.0	0.01	0.24	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	あり	184	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	なし	611	18,774.5	30.7	24.2	0.0	13.7	26.0	40.7	198.2
	あり	184	4,065.6	22.1	13.1	1.0	12.1	19.9	28.5	78.8

表 1- 22 急性期一般入院料 6・7 を算定している施設の雇用形態別常勤換算人数 (n=795)

	急性期一般 入院料 6・7 の有無	施設数	合計	平均 値	標準 偏差	最小 値	第一四 分位	中央 値	第三四 分位	最大値
直接雇用 (正規)	なし	735	12,306.2	16.7	18.0	0.0	2.0	12.0	25.0	118.0
	あり	60	691.0	11.5	13.8	0.0	2.0	6.0	14.8	57.6
直接雇用 (非正規)	なし	735	7,864.5	10.7	15.0	0.0	1.3	5.0	14.0	148.0
	あり	60	294.6	4.9	5.8	0.0	0.1	3.5	6.5	30.8
派遣職員	なし	735	1,265.7	1.7	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	86.2
	あり	60	28.2	0.5	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
業務委託 (看護職が 直接指示)	なし	735	8.0	0.01	0.21	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	あり	60	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	なし	735	21,824.7	29.7	22.7	0.0	14.7	24.9	39.4	198.2
	あり	60	1,015.4	16.9	13.8	1.5	7.8	12.8	21.2	57.6

表 1- 23 診療報酬別常勤換算勤務者数合計 ( n=795 )

	施設 数	合計	平均値	標準偏 差	最小 値	第一四 分位	中央 値	第三四 分位	最大 値
急性期一般入院料 1	272	9,817.2	36.1	22.8	0.0	20.0	31.8	46.1	170.9
急性期一般入院料 2～5	184	4,065.6	22.1	13.1	1.0	12.1	19.9	28.5	78.8
急性期一般入院料 6・7	60	1,015.4	16.9	13.8	1.5	7.8	12.8	21.2	57.6

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 10 で常勤換算人数が実人数全体以下
- 4) 問 10 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 24 年齢階級別勤務者数 (n=761)

	合計	平均値	標準偏 差	最小値	第一四 分位	中央値	第三四 分位	最大値
直接雇用 (正規)								
実人数 総数	12,675	16.7	18.0	0.0	2.0	12.0	25.0	118.0
29 歳以下	1,658	2.2	4.4	0.0	0.0	1.0	3.0	50.0
30 ~ 39 歳	2,554	3.4	4.6	0.0	0.0	2.0	5.0	36.0
40 ~ 49 歳	3,677	4.8	5.7	0.0	0.0	3.0	7.0	34.0
50 ~ 59 歳	3,681	4.8	6.1	0.0	0.0	3.0	7.0	53.0
60 ~ 69 歳	1,077	1.4	2.6	0.0	0.0	0.0	2.0	19.0
70 歳以上	28	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
直接雇用 (非正規)								
実人数 総数	9,499	12.5	17.0	0.0	2.0	6.0	16.0	140.0
29 歳以下	1,279	1.7	3.9	0.0	0.0	0.0	2.0	58.0
30 ~ 39 歳	1,282	1.7	2.7	0.0	0.0	1.0	2.0	35.0
40 ~ 49 歳	2,086	2.7	4.4	0.0	0.0	1.0	4.0	40.0
50 ~ 59 歳	2,811	3.7	6.6	0.0	0.0	1.0	4.0	45.0
60 ~ 69 歳	1,893	2.5	3.7	0.0	0.0	1.0	3.0	26.0
70 歳以上	148	0.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
派遣職員								
実人数 総数	1,280	1.7	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
29 歳以下	168	0.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0
30 ~ 39 歳	195	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0
40 ~ 49 歳	407	0.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	28.0
50 ~ 59 歳	330	0.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
60 ~ 69 歳	161	0.2	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0
70 歳以上	19	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0

次ページに続く

前ページからの続き

	合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
業務委託（看護職が直接指示）								
実人数 総数	350	0.5	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
29歳以下	16	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
30～39歳	35	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
40～49歳	111	0.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
50～59歳	117	0.2	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	41.0
60～69歳	65	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0
70歳以上	6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問11で各年齢の人数の合計が実人数全体と合致
- 4) 問11で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 25 施設ごとの年齢階級別勤務者数構成割合の分布

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
直接雇用（正規）								
実人数 総数	607	10.7	14.2	0.0	0.0	6.8	16.3	100.0
29歳以下	607	18.6	15.9	0.0	6.0	16.7	27.6	100.0
30～39歳	607	29.3	19.9	0.0	16.7	27.3	37.5	100.0
40～49歳	607	32.6	22.9	0.0	17.6	29.2	44.4	100.0
50～59歳	607	8.5	13.3	0.0	0.0	2.3	13.0	100.0
60～69歳	607	0.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
70歳以上	607	10.7	14.2	0.0	0.0	6.8	16.3	100.0

次ページに続く

前ページからの続き

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
直接雇用（非正規）								
実人数 総数	655	15.2	23.1	0.0	0.0	5.0	20.7	100.0
29歳以下	655	14.8	18.7	0.0	0.0	9.5	21.7	100.0
30～39歳	655	21.0	21.2	0.0	0.0	17.7	31.8	100.0
40～49歳	655	22.6	23.2	0.0	0.0	20.0	36.4	100.0
50～59歳	655	23.2	25.6	0.0	0.0	16.7	33.3	100.0
60～69歳	655	3.2	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
70歳以上	655	15.2	23.1	0.0	0.0	5.0	20.7	100.0
派遣職員								
実人数 総数	155	15.3	27.4	0.0	0.0	0.0	20.0	100.0
29歳以下	155	21.9	28.1	0.0	0.0	12.5	33.3	100.0
30～39歳	155	29.8	28.3	0.0	0.0	26.3	50.0	100.0
40～49歳	155	22.6	26.5	0.0	0.0	14.3	36.4	100.0
50～59歳	155	8.8	18.8	0.0	0.0	0.0	10.0	100.0
60～69歳	155	1.5	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
70歳以上	155	15.3	27.4	0.0	0.0	0.0	20.0	100.0
業務委託（看護職が直接指示）								
実人数 総数	24	6.3	17.0	0.0	0.0	0.0	1.6	75.0
29歳以下	24	13.3	18.9	0.0	0.0	4.3	26.0	50.0
30～39歳	24	35.0	28.3	0.0	15.4	32.6	50.0	100.0
40～49歳	24	24.1	26.8	0.0	0.0	19.3	44.0	100.0
50～59歳	24	18.1	27.9	0.0	0.0	9.1	25.0	100.0
60～69歳	24	3.1	13.6	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
70歳以上	24	6.3	17.0	0.0	0.0	0.0	1.6	75.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問11で各年齢の人数の合計が実人数全体と合致
- 4) 問11で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 26 雇用形態・年齢階級別勤務者数の合計実人数 (n=761)

	総数	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
直接雇用 (正規)	12,675	1,658	2,554	3,677	3,681	1,077	28
直接雇用 (非正規)	9,499	1,279	1,282	2,086	2,811	1,893	148
派遣職員	1,280	168	195	407	330	161	19
業務委託 (看護職が直接指示)	350	16	35	111	117	65	6
全体	23,804	3,121	4,066	6,281	6,939	3,196	201

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 11 で各年齢の人数の合計が実人数全体と合致
- 4) 問 11 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 27 雇用形態別・各年齢階級別勤務者の構成割合 (n=761)

	29 歳以下	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
直接雇用 (正規)	13.1%	20.1%	29.0%	29.0%	8.5%	0.2%
直接雇用 (非正規)	13.5%	13.5%	22.0%	29.6%	19.9%	1.6%
派遣職員	13.1%	15.2%	31.8%	25.8%	12.6%	1.5%
業務委託 (看護職が直接指示)	4.6%	10.0%	31.7%	33.4%	18.6%	1.7%
全雇用形態	13.1%	17.1%	26.4%	29.2%	13.4%	0.8%

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 11 で各年齢の人数の合計が実人数全体と合致
- 4) 問 11 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

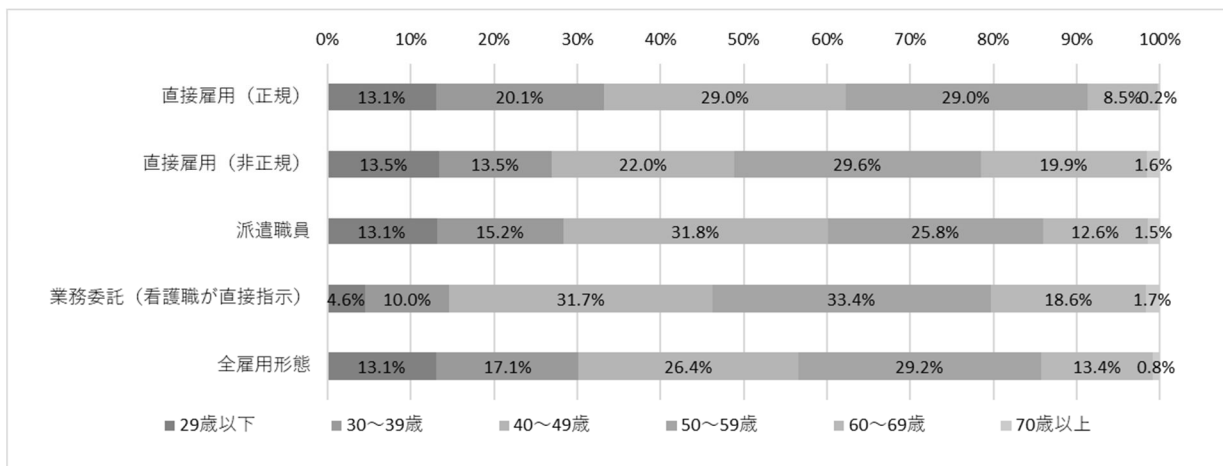


図 1-9 雇用形態別・各年齢階級別勤務者の構成割合 (n=761)

表 1-28 勤務形態別勤務者数 (n=823)

	合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
直接雇用（正規）								
実人数 総数	13,537	16.4	17.7	0.0	2.0	12.0	25.0	118.0
短時間勤務者	218	0.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
夜勤従事者	7,070	8.6	12.6	0.0	0.0	3.0	13.0	94.0
休日勤務従事者	10,605	12.9	16.1	0.0	0.0	8.0	20.0	118.0
早出従事者	8,584	10.4	14.3	0.0	0.0	6.0	15.0	118.0
遅出従事者	8,427	10.2	14.2	0.0	0.0	5.0	15.0	118.0
直接雇用（非正規）								
実人数 総数	10,510	12.8	17.6	0.0	2.0	7.0	16.0	148.0
短時間勤務者	2,521	3.1	7.9	0.0	0.0	1.0	3.0	117.0
夜勤従事者	1,245	1.5	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	54.0
休日勤務従事者	4,969	6.0	10.6	0.0	0.0	1.0	7.0	81.0
早出従事者	4,364	5.3	10.2	0.0	0.0	1.0	6.0	81.0
遅出従事者	4,280	5.2	10.3	0.0	0.0	0.0	5.0	81.0

次ページに続く



前ページからの続き

	合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
派遣職員								
実人数 総数	1,444	1.8	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	87.0
短時間勤務者	259	0.3	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0
夜勤従事者	135	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
休日勤務従事者	667	0.8	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0
早出従事者	620	0.8	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	61.0
遅出従事者	628	0.8	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	61.0
業務委託（看護職が直接指示）								
実人数 総数	367	0.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	88.0
短時間勤務者	39	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0
夜勤従事者	63	0.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	53.0
休日勤務従事者	211	0.3	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	82.0
早出従事者	91	0.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	49.0
遅出従事者	98	0.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	49.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問12で各勤務形態の人数が実人数全体以下
- 4) 問12で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 29 施設ごとの勤務形態別勤務者割合の分布

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
直接雇用（正規）								
短時間勤務者	658	2.1	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
夜勤従事者	658	47.6	38.7	0.0	0.0	53.1	83.3	100.0
休日勤務従事者	658	75.1	36.2	0.0	69.0	93.3	100.0	100.0
早出従事者	658	62.9	39.2	0.0	28.6	79.5	100.0	100.0
遅出従事者	658	61.3	39.8	0.0	18.4	77.1	100.0	100.0
直接雇用（非正規）								
短時間勤務者	711	32.0	39.6	0.0	0.0	10.5	65.1	100.0
夜勤従事者	711	10.2	22.1	0.0	0.0	0.0	8.3	100.0
休日勤務従事者	711	43.2	39.4	0.0	0.0	40.0	83.3	100.0
早出従事者	711	34.5	36.8	0.0	0.0	21.4	66.7	100.0
遅出従事者	711	32.5	36.7	0.0	0.0	17.9	64.3	100.0
派遣職員								
短時間勤務者	172	17.2	32.0	0.0	0.0	0.0	18.6	100.0
夜勤従事者	172	12.2	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
休日勤務従事者	172	39.2	43.7	0.0	0.0	16.7	100.0	100.0
早出従事者	172	31.6	39.8	0.0	0.0	0.0	71.2	100.0
遅出従事者	172	33.9	40.9	0.0	0.0	10.3	71.4	100.0
業務委託（看護職が直接指示）								
短時間勤務者	27	23.3	41.3	0.0	0.0	0.0	29.2	100.0
夜勤従事者	27	6.4	20.9	0.0	0.0	0.0	0.0	98.2
休日勤務従事者	27	30.4	44.6	0.0	0.0	0.0	93.2	100.0
早出従事者	27	16.9	33.3	0.0	0.0	0.0	9.1	100.0
遅出従事者	27	21.0	35.2	0.0	0.0	0.0	45.5	100.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 12 で各勤務形態の人数が実人数全体以下
- 4) 問 12 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 30 雇用形態別・勤務形態別勤務者数の合計実人数 (n=823)

	総数	短時間勤務者	夜勤従事者	休日勤務従事者	早出従事者	遅出従事者
直接雇用 (正規)	13,537	218	7,070	10,605	8,584	8,427
直接雇用 (非正規)	10,510	2,521	1,245	4,969	4,364	4,280
派遣職員	1,444	259	135	667	620	628
業務委託 (看護職が直接指示)	367	39	63	211	91	98
全体	25,858	3,037	8,513	16,452	13,659	13,433

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 12 で各勤務形態の人数が実人数全体以下
- 4) 問 12 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 31 雇用形態別・勤務形態別勤務者数の構成割合 (n=823)

	短時間勤務者	夜勤従事者	休日勤務従事者	早出従事者	遅出従事者
直接雇用 (正規)	1.6%	52.2%	78.3%	63.4%	62.3%
直接雇用 (非正規)	24.0%	11.8%	47.3%	41.5%	40.7%
派遣職員	17.9%	9.3%	46.2%	42.9%	43.5%
業務委託 (看護職が直接指示)	10.6%	17.2%	57.5%	24.8%	26.7%
全体	11.7%	32.9%	63.6%	52.8%	51.9%

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問 7 の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問 10 から問 12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問 12 で各勤務形態の人数が実人数全体以下
- 4) 問 12 で実人数の欄に小数点以下の記載がない

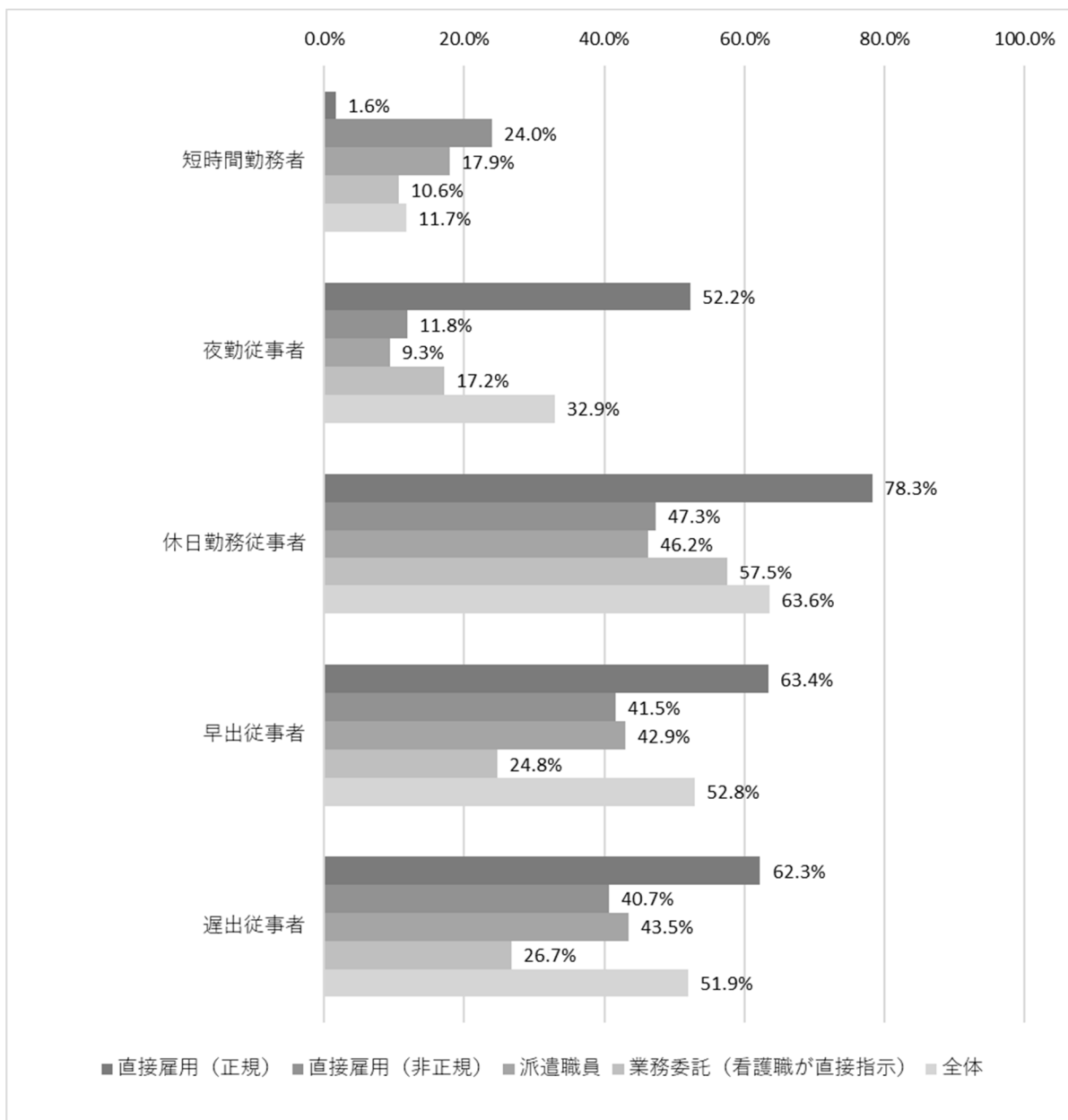


図 1- 10 勤務形態別勤務者割合（n=823）

表 1- 32 看護補助者配置病棟・部署数 (n=584)

	合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
急性期看護補助体制加算 (25対1)	856	1.5	3.0	0.0	0.0	0.0	2.0	24.0
急性期看護補助体制加算 (50対1)	551	0.9	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0
急性期看護補助体制加算 (75対1)	8	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
看護補助加算(1)	160	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
看護補助加算(2)	68	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
看護補助加算(3)	20	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
病棟部門(急性期)	498	0.9	2.3	0.0	0.0	0.0	1.0	35.0
病棟部門(慢性期)	536	0.9	1.6	0.0	0.0	0.0	1.0	24.0
外来部門	357	0.6	0.9	0.0	0.0	0.0	1.0	8.0
検査部門	36	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
中材部門	131	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0
手術室	114	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
ICU・CCU・SCU・NICU	127	0.2	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
その他の部署	305	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	1.0	8.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が実人数以下
- 4) 問13で各病棟・部署の実人数が問10の実人数全体以下
- 5) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が問10の常勤換算人数の合計以下
- 6) 問13で病棟・部署あたりの実人数が1以上
- 7) 問13で実人数の欄に小数点以下の記載がない

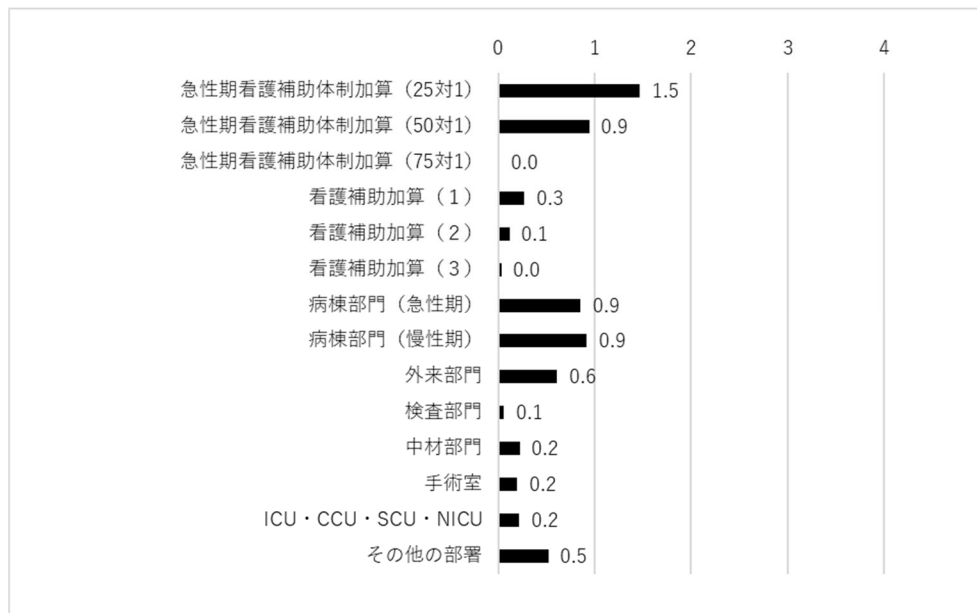


図 1- 11 看護補助者配置平均病棟・部署数 (n=584)

表 1- 33 病棟・部署別勤務者数 (n=584)

		合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
急性期看護補助体制加算 (25 対 1)	常勤換算	3,770.0	6.5	13.4	0.0	0.0	0.0	8.2	134.4
	実人数	4,330	7.4	15.4	0.0	0.0	0.0	10.0	135.0
急性期看護補助体制加算 (50 対 1)	常勤換算	1,734.3	3.0	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	55.0
	実人数	2,026	3.5	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	62.0
急性期看護補助体制加算 (75 対 1)	常勤換算	38.9	0.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	17.5
	実人数	62	0.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
看護補助加算 (1)	常勤換算	889.2	1.5	4.6	0.0	0.0	0.0	0.0	39.3
	実人数	1,019	1.7	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	42.0
看護補助加算 (2)	常勤換算	346.5	0.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
	実人数	372	0.6	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0
看護補助加算 (3)	常勤換算	122.3	0.2	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	30.5
	実人数	130	0.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0

次ページに続く

前ページからの続き

		合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
病棟部門(慢性期)	常勤換算	3,895.6	6.7	11.9	0.0	0.0	0.0	9.4	96.3
	実人数	4,289	7.3	12.7	0.0	0.0	0.0	10.0	108.0
外来部門	常勤換算	968.5	1.7	4.2	0.0	0.0	0.0	1.7	51.5
	実人数	1,130	1.9	4.6	0.0	0.0	0.0	2.0	54.0
検査部門	常勤換算	59.2	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	実人数	68	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
中材部門	常勤換算	222.7	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4
	実人数	245	0.4	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
手術室	常勤換算	249.4	0.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.7
	実人数	281	0.5	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	21.0
ICU・CCU・SCU・NICU	常勤換算	200.1	0.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	実人数	242	0.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
その他の部署	常勤換算	1,369.8	2.3	6.6	0.0	0.0	0.0	1.0	55.0
	実人数	1,509	2.6	6.9	0.0	0.0	0.0	2.0	55.0
配置部署を定めない	常勤換算	150.5	0.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	実人数	187	0.3	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が実人数以下
- 4) 問13で各病棟・部署の実人数が問10の実人数全体以下
- 5) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が問10の常勤換算人数の合計以下
- 6) 問13で病棟・部署あたりの実人数が1以上
- 7) 問13で実人数の欄に小数点以下の記載がない

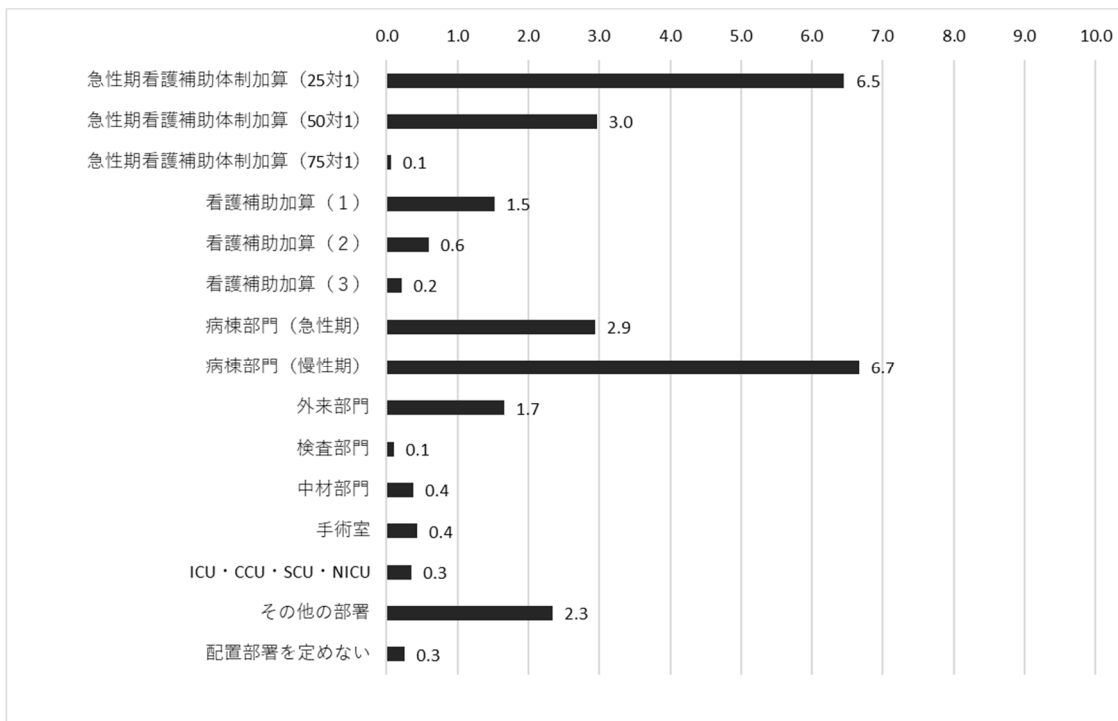


図 1- 12 病棟・部署別平均看護補助者勤務者数 (常勤換算人数、n=584)

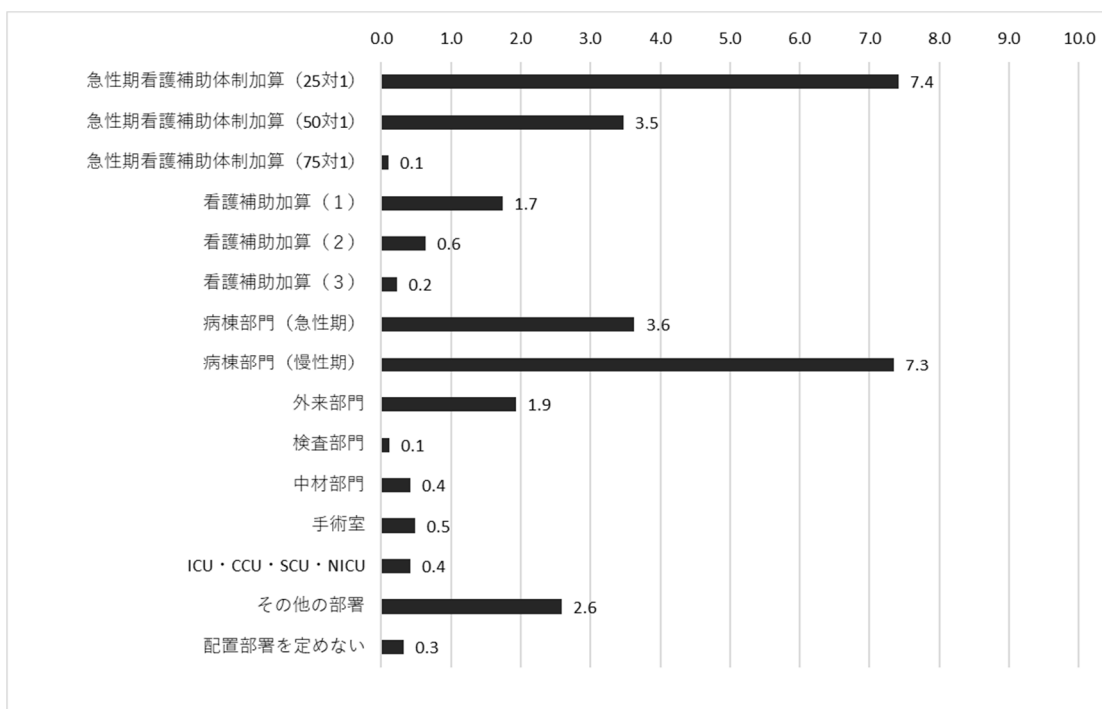


図 1- 13 病棟・部署別平均看護補助者勤務者数 (実人数、n=584)



表 1- 34 病棟・部署別勤務者数 (n=584)

	病棟・部署数		補助者人数		1病棟・部署平均常勤換算人数
			常勤換算	実人数	
加算算定病棟					
急性期看護補助体制加算 (25対1)	856	病棟	3,770.0	4,330	4.4
急性期看護補助体制加算 (50対1)	551	病棟	1,734.3	2,026	3.1
急性期看護補助体制加算 (75対1)	8	病棟	39	62	4.9
看護補助加算 (1)	160	病棟	889.2	1,019	5.6
看護補助加算 (2)	68	病棟	346.5	372	5.1
看護補助加算 (3)	20	病棟	122.3	130	6.1
小計	1,663	病棟	6,901.1	7,939	4.1
加算非算定部署					
病棟部門 (急性期)	498	病棟	1,717.3	2,120	3.4
病棟部門 (慢性期)	536	病棟	3,895.6	4,289	7.3
外来部門	357	部署	968.5	1,130	2.7
検査部門	36	部署	59.2	68	1.6
中材部門	131	部署	222.7	245	1.7
手術室	114	部署	249.4	281	2.2
ICU・CCU・SCU・NICU	127	部署	200.1	242	1.6
その他の部署	305	部署	1,369.8	1,509	4.5
配置部署を定めない			150.5	187	
小計	2,104	病棟・部署	8,833.2	10,071	4.2

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 問10から問12、どの勤務形態でも実人数が合致
- 3) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が実人数以下
- 4) 問13で各病棟・部署の実人数が問10の実人数全体以下
- 5) 問13で各病棟・部署の常勤換算人数が問10の常勤換算人数の合計以下
- 6) 問13で病棟・部署あたりの実人数が1以上
- 7) 問13で実人数の欄に小数点以下の記載がない

表 1- 35 加算算定病棟、非算定病棟別勤務者数 ( n=584 )

	病棟・部署数		補助者人数			
			常勤換算	( % )	実人数	( % )
加算算定病棟	1,663	病棟	6,901.10	43.9	7,939	44.1
加算非算定病棟	1034	病棟	5,612.90	35.7	6,409	35.6
加算非算定部署 ( 外来・検査・中 材・手術・ICU など )	765	部署	1699.9	10.8	1966	10.9
その他の部署	305	部署	1,369.80	8.7	1,509	8.4
配置部署を定めない			150.5	1.0	187	1.0
合計	3,767		15,734.20		18,010.00	

表 1- 36 看護補助者の充足度 ( n=1,266 )

	施設数	割合
十分充足している	52	4.1%
まあ充足している	277	21.9%
やや不足している	592	46.8%
非常に不足している	335	26.5%
無回答	10	0.8%

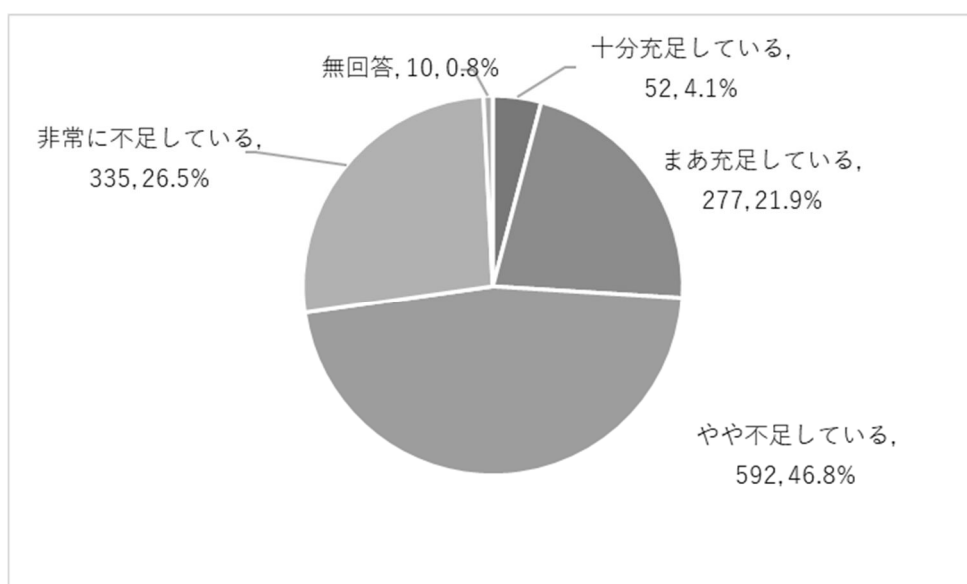


図 1- 14 看護補助者の充足度 ( n=1,266 )

表 1- 37 今後の看護補助者活用方針 ( n=1,266 )

	施設数	割合
増やす ( 欠員を補う場合も含む )	952	75.2%
現状維持	293	23.1%
減らす	8	0.6%
今後とも看護補助者は活用しない	12	0.9%
無回答	1	0.1%

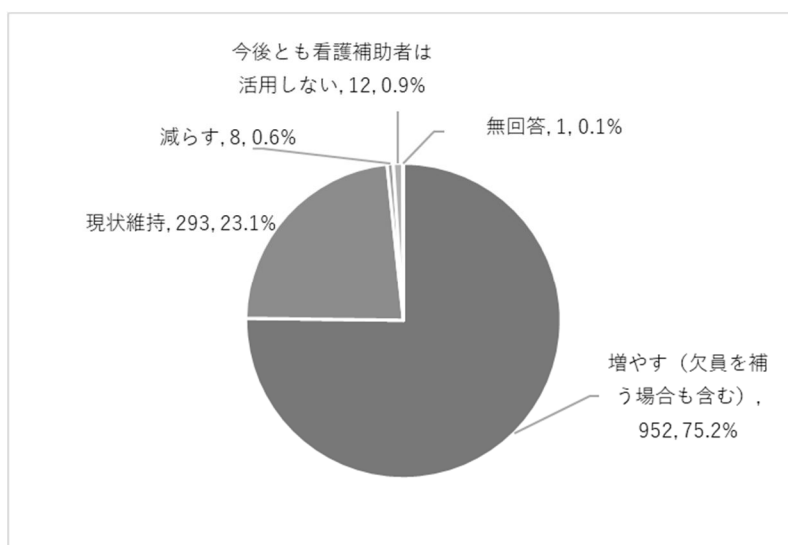


図 1- 15 今後の看護補助者活用方針 ( n=1,266 )

表 1- 38 看護補助者の活用方針 雇用・就労形態別（複数回答、n=952）

	施設数	割合
正規職員（直接雇用）として活用したい	691	72.6%
通常の労働時間勤務できる非正規職員（直接雇用）として活用したい	618	64.9%
短時間でスポット的に働く非正規職員（直接雇用）として活用したい	429	45.1%
派遣職員として活用したい	81	8.5%
業務委託（看護職が直接指示）として活用したい	49	5.1%

集計対象は、問 15 の今後の活用方針で「増やす」と回答した施設

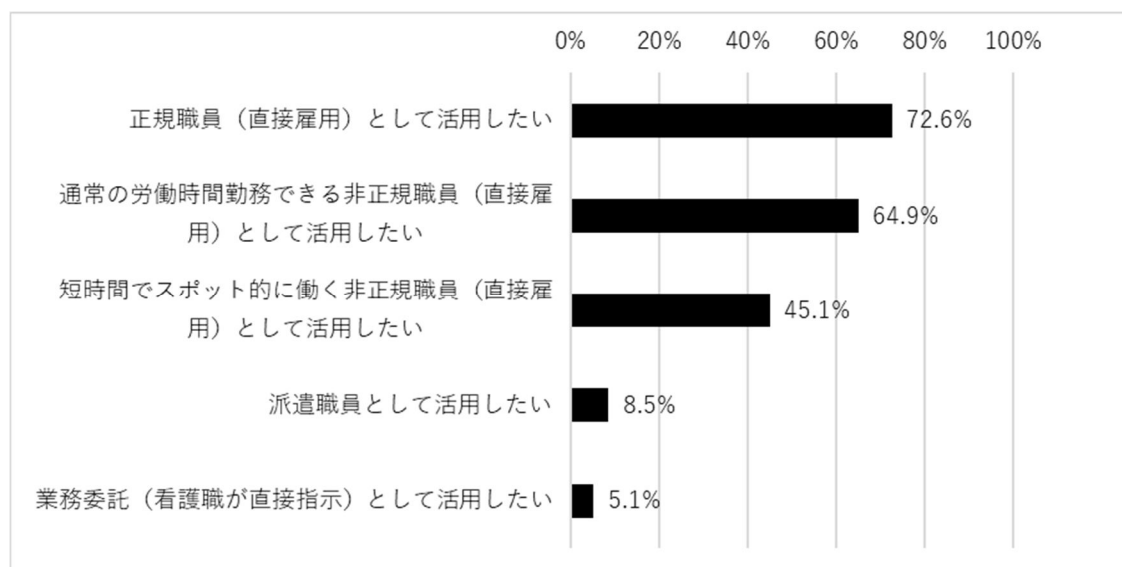


図 1- 16 看護補助者の活用方針 雇用・就労形態別（複数回答、n=952）

表 1- 39 看護補助者の活用方針のクロス集計

		正規職員（直接雇用）として活用したい			
		いいえ		はい	
		施設数	割合	施設数	割合
通常の労働時間勤務できる非正規職員 （直接雇用）として活用したい	いいえ	35	13.4%	299	43.3%
	はい	226	86.6%	392	56.7%
短時間でスポット的に働く非正規職員 （直接雇用）として活用したい	いいえ	144	55.2%	379	54.8%
	はい	117	44.8%	312	45.2%
派遣職員として活用したい	いいえ	233	89.3%	638	92.3%
	はい	28	10.7%	53	7.7%
業務委託（看護職が直接指示）として 活用したい	いいえ	237	90.8%	666	96.4%
	はい	24	9.2%	25	3.6%
		通常の労働時間勤務できる非正規職員（直接雇用）として 活用したい			
		いいえ		はい	
		施設数	割合	施設数	割合
短時間でスポット的に働く非正規職員 （直接雇用）として活用したい	いいえ	244	73.1%	279	45.1%
	はい	90	26.9%	339	54.9%
派遣職員として活用したい	いいえ	316	94.6%	555	89.8%
	はい	18	5.4%	63	10.2%
業務委託（看護職が直接指示）として 活用したい	いいえ	315	94.3%	588	95.1%
	はい	19	5.7%	30	4.9%
		短時間でスポット的に働く非正規職員（直接雇用）として 活用したい			
		いいえ		はい	
		施設数	割合	施設数	割合
派遣職員として活用したい	いいえ	497	95.0%	374	87.2%
	はい	26	5.0%	55	12.8%
業務委託（看護職が直接指示）として 活用したい	いいえ	507	96.8%	396	92.3%
	はい	17	3.2%	33	7.7%

次ページへ続く

前ページからの続き

		派遣職員として活用したい			
		いいえ		はい	
		施設数	割合	施設数	割合
業務委託（看護職が直接指示）として活用したい	いいえ	840	96.4%	63	77.8%
	はい	31	3.6%	18	22.2%

表 1- 40 看護補助者を活用する理由（複数回答、n=1,254）

	施設数	割合
ケア充実のため提供する看護量を増やしたい	1,112	88.7%
看護職の業務を効率化し、専門性の向上を図りたい	1,143	91.1%
看護職の休暇取得や残業軽減を図りたい	620	49.4%
看護職不足のため看護補助者を活用せざるを得ない	257	20.5%
看護補助者を増やして看護職数を必要最小限に抑えたい	169	13.5%
医療資格を持たない人がチームに入ることで、患者の理解が深まる	98	7.8%
地域住民が看護補助者として病院に入ることで住民の医療理解につながる	100	8.0%
その他	45	3.6%

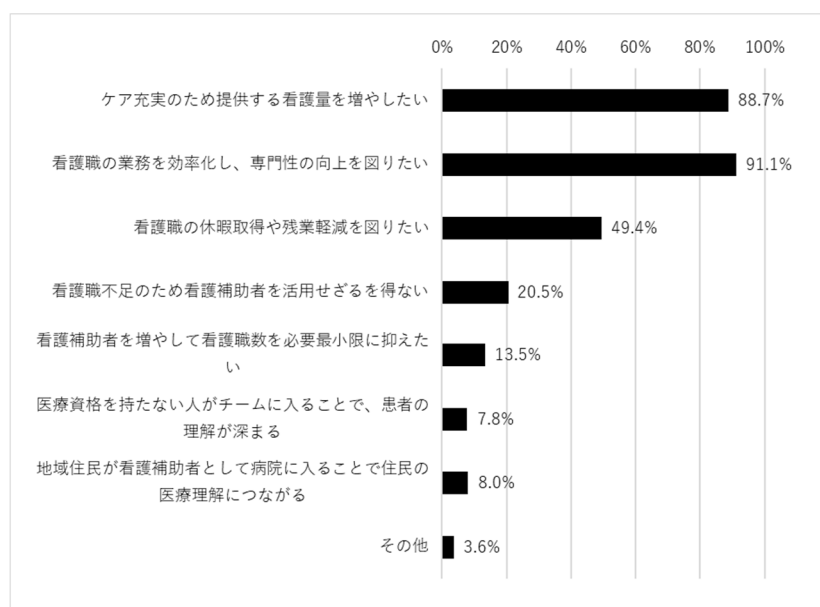


図 1- 17 看護補助者を活用する理由（複数回答、n=1,254）

表 1- 41 看護補助者として活用したい人材 資格・能力別（三つまで、n=1,254）

	施設数	割合
介護職員初任者研修修了者	374	29.8%
介護職員実務者研修修了者	273	21.8%
介護福祉士	584	46.6%
看護補助者対象の研修を何らかのかたちで受けたことがある人	318	25.4%
介護・福祉分野で仕事をしたことがある人	476	38.0%
医療分野で仕事をしたことがある人	407	32.5%
人の世話をすることに向いている人	786	62.7%
その他	77	6.1%

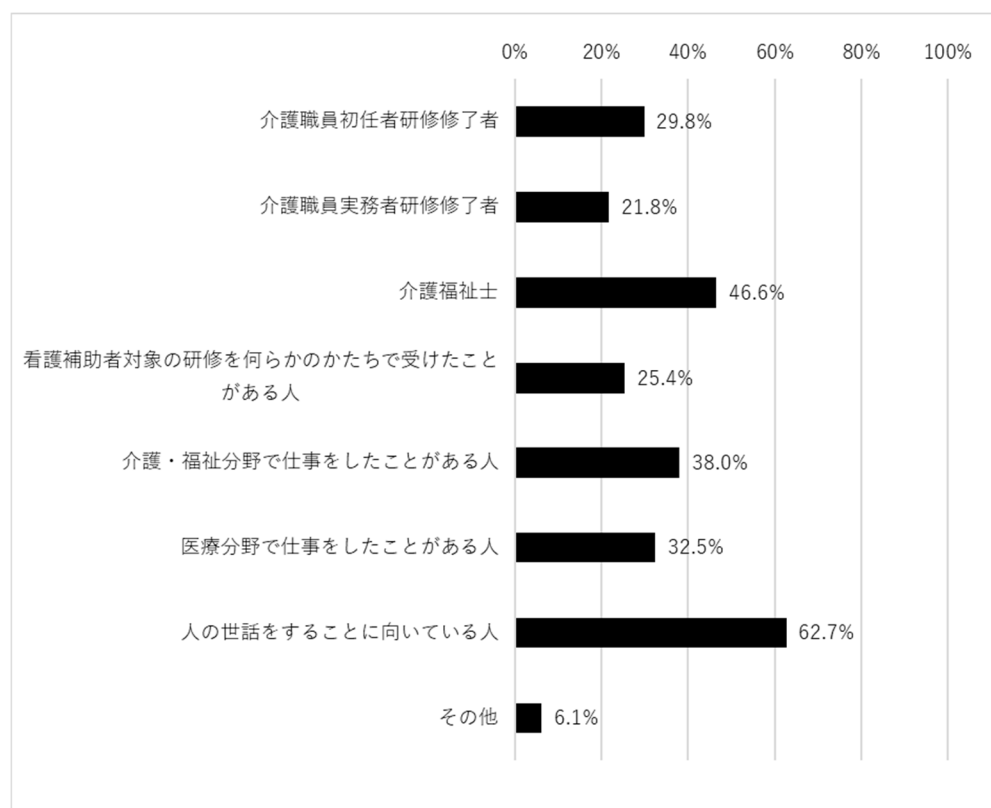


図 1- 18 看護補助者として活用したい人材 資格・能力別（三つまで、n=1,254）



表 1- 42 看護補助者として採用したい人材・その他の自由記述（5名以上が記述した内容）

	施設数
人柄	37
コミュニケーション能力	12
体力・健康	6

表 1- 43 看護補助者として採用したい層（三つまで、n=1,254）

	施設数	割合
看護や介護の道を目指す学生（進学希望者含む）	862	68.7%
勤めていない主婦	720	57.4%
家族で農林水産業・自営業を営む主婦	48	3.8%
定年退職後の女性	223	17.8%
定年退職後の男性	35	2.8%
定年ではないが勤めを辞めた方	802	64.0%
その他	181	14.4%

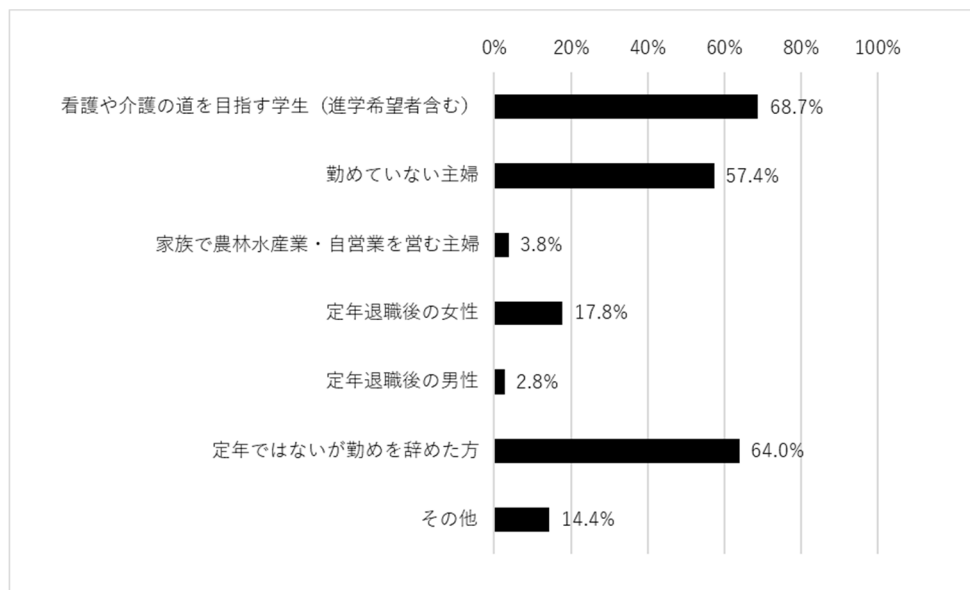


図 1- 19 看護補助者として採用したい層（三つまで、n=1,254）

表 1- 44 看護補助者を募集・採用する方法（複数回答、n=1,255）

	施設数	割合
ハローワーク	1,146	91.3%
有料職業紹介所	241	19.2%
派遣会社	325	25.9%
求人広告（民間求人サイト・SNS）	247	19.7%
求人広告（フリーペーパー・タウンペーパー）	267	21.3%
求人広告（折込チラシ）	283	22.5%
求人広告（新聞）	108	8.6%
病院のホームページ	1,051	83.7%
知人の紹介	794	63.3%
その他	88	7.0%

集計対象は、問7で「現在、看護補助者を活用していない」と回答し、問15で「今後とも看護補助者は活用しない」と回答した施設以外。有料職業紹介所、派遣会社に関しては、問22の確保経費で1円以上の記載があった場合は、施設数に計上している。

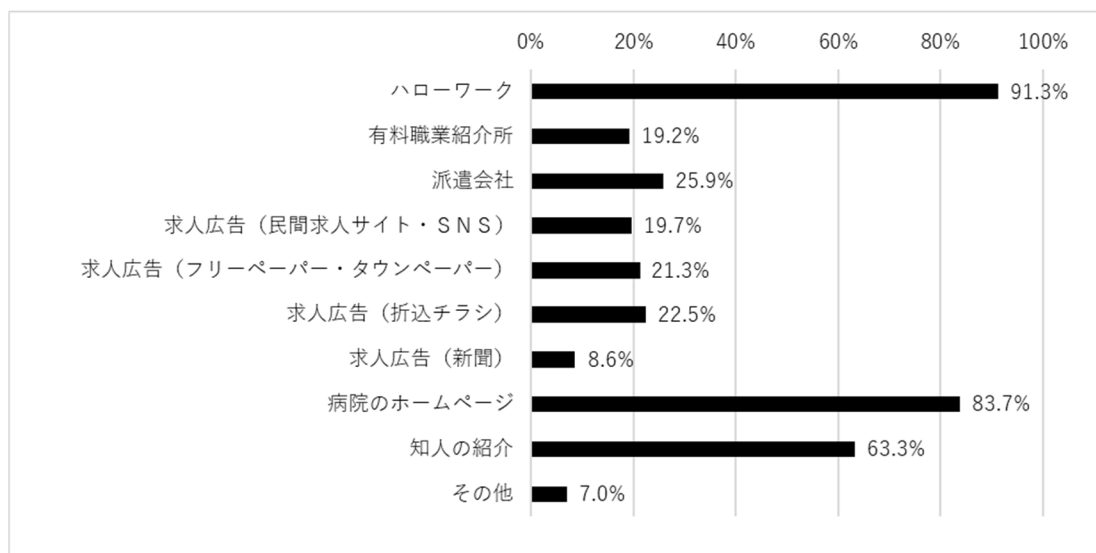


図 1- 20 看護補助者を募集・採用する方法（複数回答、n=1,255）

表 1- 45 看護補助者を募集・採用する方法・その他の自由記述（5 名以上記載）

	施設数
教育機関への照会・訪問、教育機関からの紹介	20
地域の広報誌・ウェブサイト	16
患者向け広報誌への掲載・チラシ折り込み	13
ポスター・院内掲示	11
就職説明会・就職支援セミナー	5

表 1- 46 確保のための年間経費

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
有料職業紹介所	136	237.8	671.2	3.0	40.3	95.0	249.9	7500.0
派遣会社	197	1,883.3	3,505.8	1.0	177.5	598.0	2084.5	31800.0

2018 年度の 1 年間の金額。単位は万円。0 という回答は集計から除外。

表 1- 47 確保のための年間経費・有料職業紹介所の分布（n=136）

	施設数	割合
100 万円未満	69	50.7%
100 万円以上 500 万円未満	53	39.0%
500 万円以上 1000 万円未満	10	7.4%
1000 万円以上	4	2.9%

2018 年度の 1 年間の金額。0 という回答は集計から除外。

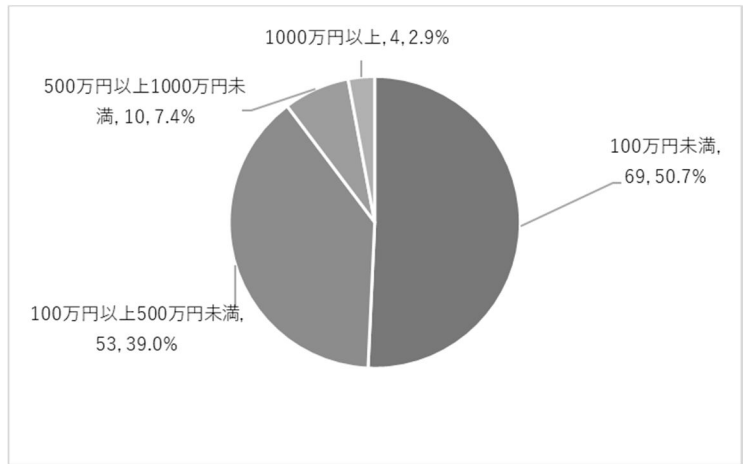


図 1- 21 確保のための年間経費・有料職業紹介所の分布 (n=136)

表 1- 48 確保のための年間経費・派遣会社の分布 (n=197)

	施設数	割合
1000 万円未満	117	59.4%
1000 万円以上 3000 万円未満	44	22.3%
3000 万円以上 5000 万円未満	14	7.1%
5000 万円以上 1 億円未満	15	7.6%
1 億円以上	7	3.6%

2018 年度の 1 年間の金額。0 という回答は集計から除外。

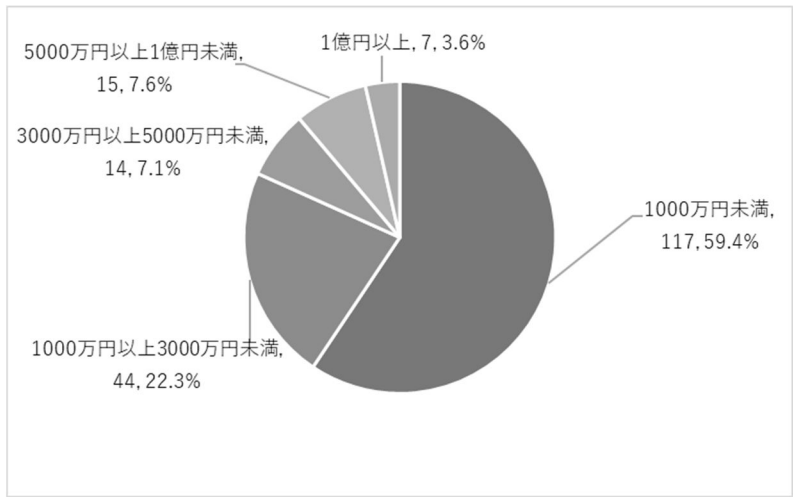


図 1- 22 確保のための年間経費・派遣会社の分布 (n=197)

表 1- 49 看護補助者の募集人数・採用人数 (n=968)

	施設数	合計	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
募集人数									
計	968	5,865	6.1	6.4	0.0	2.0	5.0	8.0	60.0
正規	968	2,780	2.9	3.9	0.0	0.0	1.0	5.0	30.0
非正規	968	2,795	2.9	5.3	0.0	0.0	1.0	4.0	56.0
採用人数									
計	968	4,754	4.9	5.5	0.0	1.0	3.0	7.0	46.0
正規	968	1,905	2.0	2.9	0.0	0.0	1.0	3.0	24.0
非正規	968	2,732	2.8	4.5	0.0	0.0	1.0	4.0	40.0

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 募集人数、採用人数ともに、正規、非正規の人数が計を上回らない
- 3) 募集人数、採用人数ともに、小数点以下の記載がない

表 1- 50 看護補助者の募集人数、採用者数実人数の合計 (n=968)

	実人数		
	計	正規職員	非正規職員
募集人数	5,865	2,780	2,795
採用者数	4,754	1,905	2,732
採用者数 / 募集人数 (%)	81.1%	68.5%	97.7%

以下の条件が全てあてはまる施設のみ

- 1) 問7の雇用形態で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外
- 2) 募集人数、採用人数ともに、正規、非正規の人数が計を上回らない
- 3) 募集人数、採用人数ともに、小数点以下の記載がない

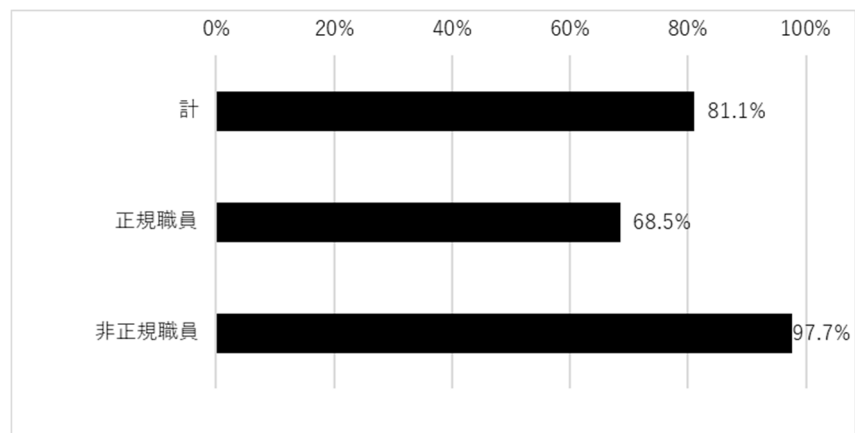


図 1- 23 看護補助者の採用者数 / 募集人数 ( n=968 )

表 1- 51 看護補助者の 2018 年度の離職率

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
計	1,165	15.5	17.1	0.0	4.5	12.2	21.6	250.0
正規	1,128	9.6	19.5	0.0	0.0	4.0	14.3	440.0
非正規	1,137	14.3	22.9	0.0	0.0	4.5	20.5	228.0

表 1- 52 看護補助者の 2018 年度の離職率分布 ( n=1,253 )

	計		正規		非正規	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
5%未満	303	24.2%	591	47.2%	577	46.0%
5%以上 10%未満	177	14.1%	136	10.9%	92	7.3%
10%以上 15%未満	189	15.1%	129	10.3%	92	7.3%
15%以上 20%未満	148	11.8%	95	7.6%	78	6.2%
20%以上 30%未満	198	15.8%	106	8.5%	122	9.7%
30%以上	150	12.0%	71	5.7%	176	14.0%
無回答・不正回答	88	7.0%	125	10.0%	116	9.3%

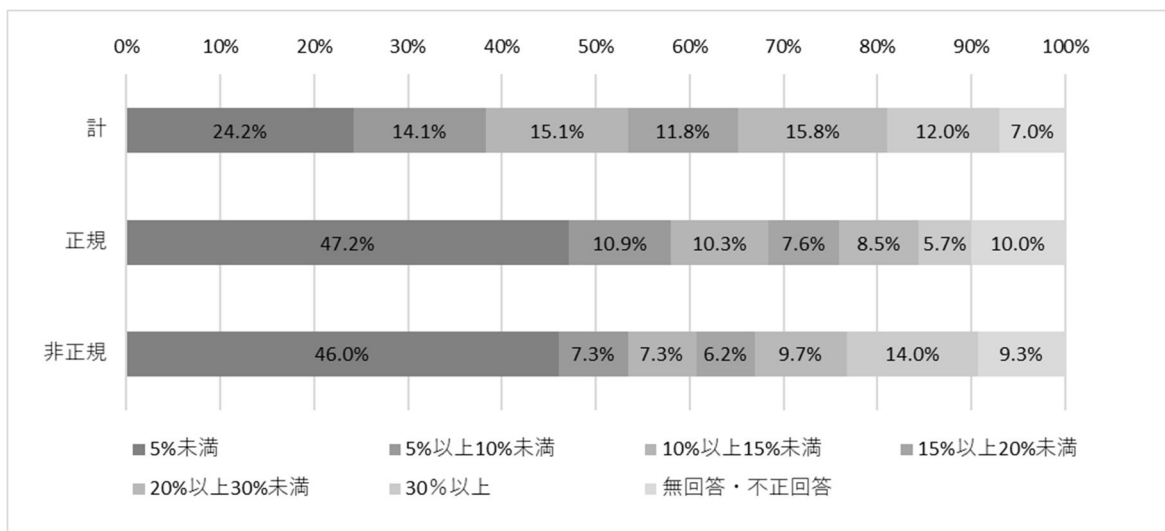


図 1-24 看護補助者の 2018 年度の離職率分布 (n=1,253)

表 1-53 看護補助者の 2018 年度の平均勤続年数

	施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
計	1,123	7.7	4.3	0.0	5.0	7.1	9.7	48.7
正規	1,083	8.1	7.0	0.0	3.9	7.3	10.2	46.5
非正規	1,099	5.3	5.0	0.0	2.0	4.5	7.4	50.0

表 1-54 看護補助者の 2018 年度の平均勤続年数分布 (n=1,253)

	計		正規		非正規	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
3年未満	79	6.3%	231	18.4%	369	29.4%
3年以上5年未満	177	14.1%	97	7.7%	226	18.0%
5年以上10年未満	612	48.8%	432	34.5%	347	27.7%
10年以上15年未満	198	15.8%	191	15.2%	106	8.5%
15年以上	57	4.5%	132	10.5%	51	4.1%
無回答・不正回答	130	10.4%	170	13.6%	154	12.3%

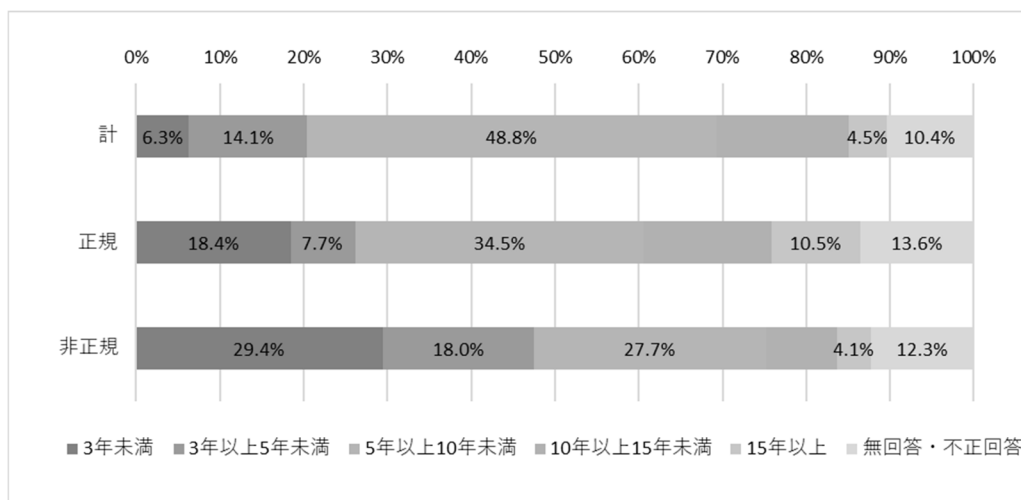


図 1- 25 看護補助者の 2018 年度の平均勤続年数分布 (n=1,253)

表 1- 55. 人事考課

	正規職員 (n=975)		非正規職員 (n=1,045)	
	施設数	割合	施設数	割合
人事考課を行い、給与に反映させている	457	46.9%	152	14.5%
人事考課は行っているが、給与には反映させていない	217	22.3%	235	22.5%
人事考課は行っていない	287	29.4%	628	60.1%
無回答	14	1.4%	30	2.9%

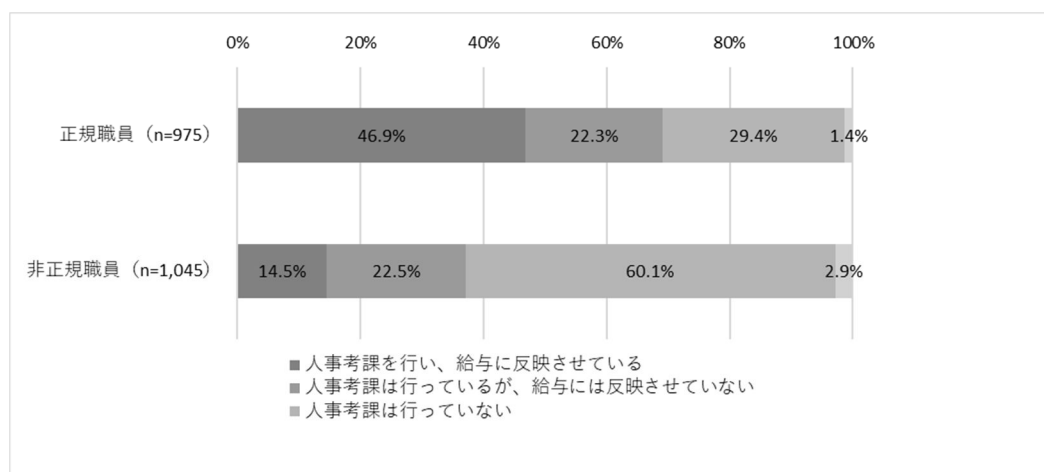


図 1- 26. 人事考課 (正規職員は n=975、非正規職員は n=1,045)



表 1- 56 看護補助者の基本給の給与体系（複数回答）

	正規職員（n=975）		非正規職員（n=1,045）	
	施設数	割合	施設数	割合
勤続年数に対応する給与体系	835	85.6%	500	47.8%
職務に対応する給与体系	368	37.7%	256	24.5%
職能に対応する給与体系	371	38.1%	230	22.0%
勤続年数等に関係なく同一賃金	35	3.6%	402	38.5%

正規職員、非正規職員それぞれ直接雇用していると回答した施設のみ回答。

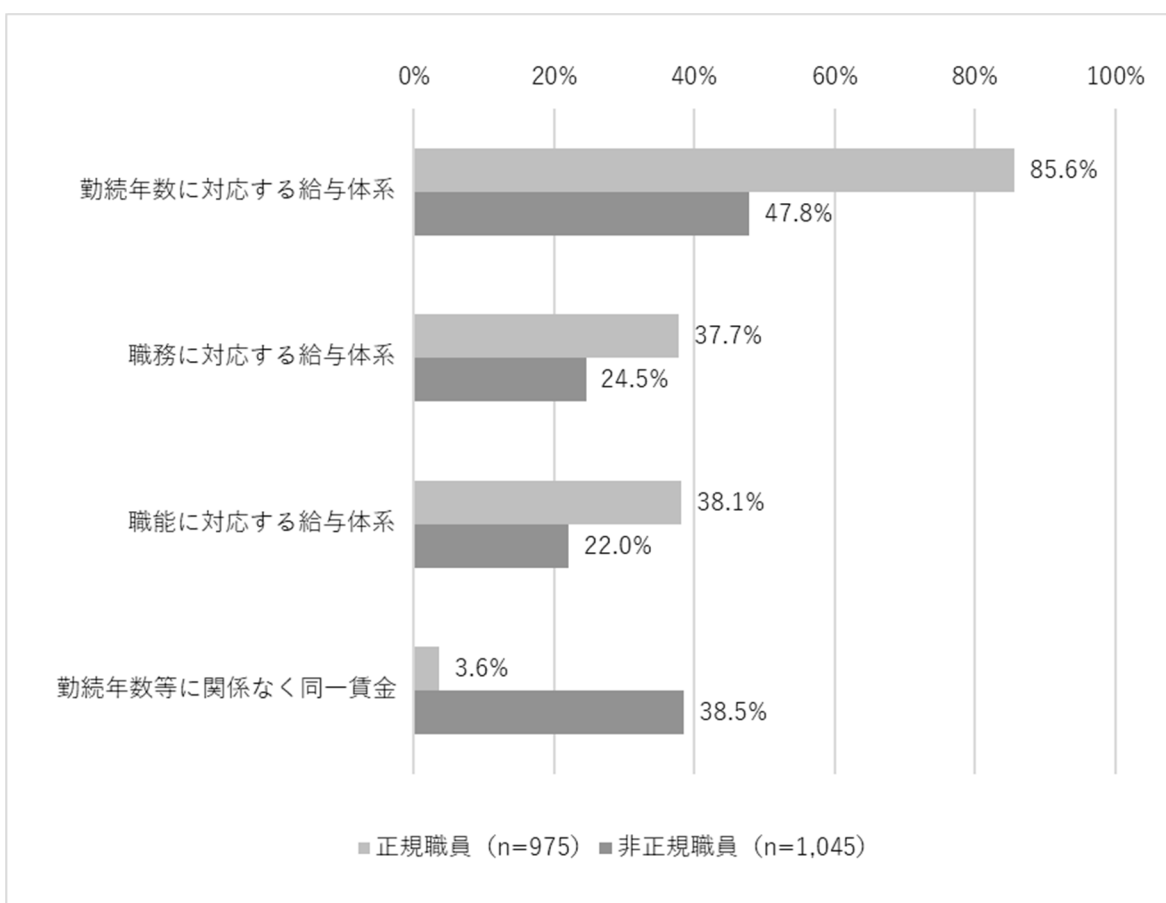


図 1- 27 看護補助者の基本給の給与体系  
（複数回答、正規職員は n=975、非正規職員は n=1,045）

表 1- 57 看護補助者に支給している手当（複数回答）

	正規職員（n=975）		非正規職員（n=1,045）	
	施設数	割合	施設数	割合
夜間勤務手当	764	78.4%	453	43.3%
休日勤務手当	320	32.8%	284	27.2%
リーダー手当	145	14.9%	21	2.0%
資格手当（介護福祉士など）	516	52.9%	257	24.6%
その他	237	24.3%	205	19.6%

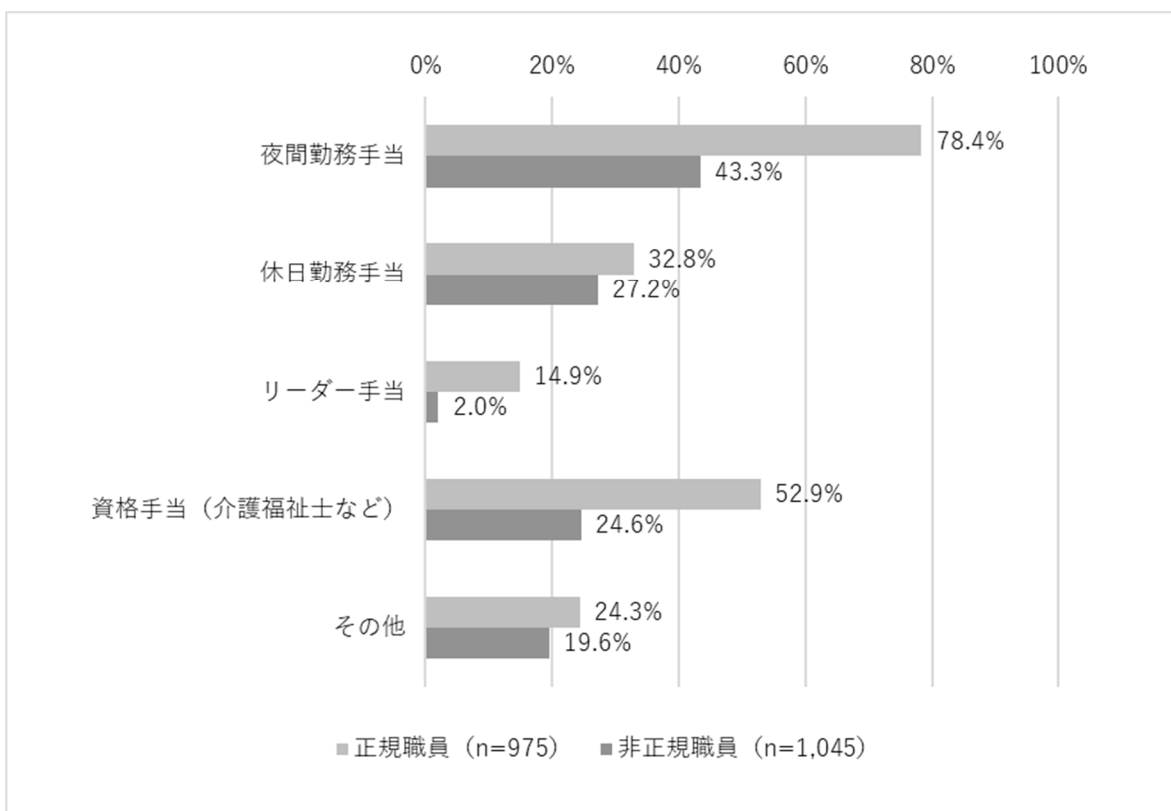


図 1- 28 看護補助者に支給している手当  
（複数回答、正規職員は n=975、非正規職員は n=1,045）

表 1- 58 夜間勤務・休日勤務実施施設における手当支給割合（複数回答）

	正規職員			非正規職員		
	施設数の分母	手当を出している施設数	割合	施設数の分母	手当を出している施設数	割合
夜間勤務手当	679	628	92.5%	307	234	76.2%
休日勤務手当	822	264	32.1%	679	189	27.8%

正規職員、非正規職員それぞれ直接雇用していると回答した施設のみ回答。

夜間勤務手当、休日勤務手当については、それぞれ夜間勤務を行っている正規職員・非正規職員、休日勤務を行っている正規職員・非正規職員がいる施設数を分母とした。

表 1- 59 正規職員の手当て・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数		施設数
早出手当（超早出を含む）	59	年末年始、ゴールデンウィーク手当	15
遅出手当	48	処遇改善手当	12
交通費・通勤手当	43	調整手当	12
住宅手当	41	地域手当（寒冷地手当など含む）	10
扶養手当	25	家族手当	10
皆勤・精勤手当、期末勤勉手当	22	病棟手当	9
時間外、残業、超過勤務時間手当	19	危険手当・安全管理手当	9
職位、職能、職責手当	17	特殊業務手当	7
主任・副主任、役職、管理職手当	15		

表 1- 60 非正規職員の手当て・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数		施設数
交通費・通勤手当	63	住宅手当（家賃補助を含む）	10
早出手当（超早出を含む）	47	処遇改善手当	10
遅出手当	38	特殊業務手当	10
時間外手当、残業手当、超過勤務	38	危険手当	10
年末年始手当、ゴールデンウィーク手当、盆休勤務手当	14	皆勤・精勤手当、期末勤勉手当	6

表 1- 61 正規職員の平均給与支払総額

施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
794	325.6	86.8	122.9	270.9	306.0	354.5	725.0

回答は問7で正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

円で回答したと思われる場合は、万円に換算した。明らかな外れ値は集計から除外した。

表 1- 62 正規職員の平均給与支払総額の分布 (n=975)

	施設数	割合
200万円未満	13	1.6%
200万円以上 300万円未満	300	37.8%
300万円以上 400万円未満	357	45.0%
400万円以上 500万円未満	84	10.6%
500万円以上	40	5.0%
無回答・不正回答	181	

回答は問7で正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

円で回答したと思われる場合は、万円に換算した。明らかな外れ値は集計から除外した。

割合は、無回答・不正回答を除いて算出した。

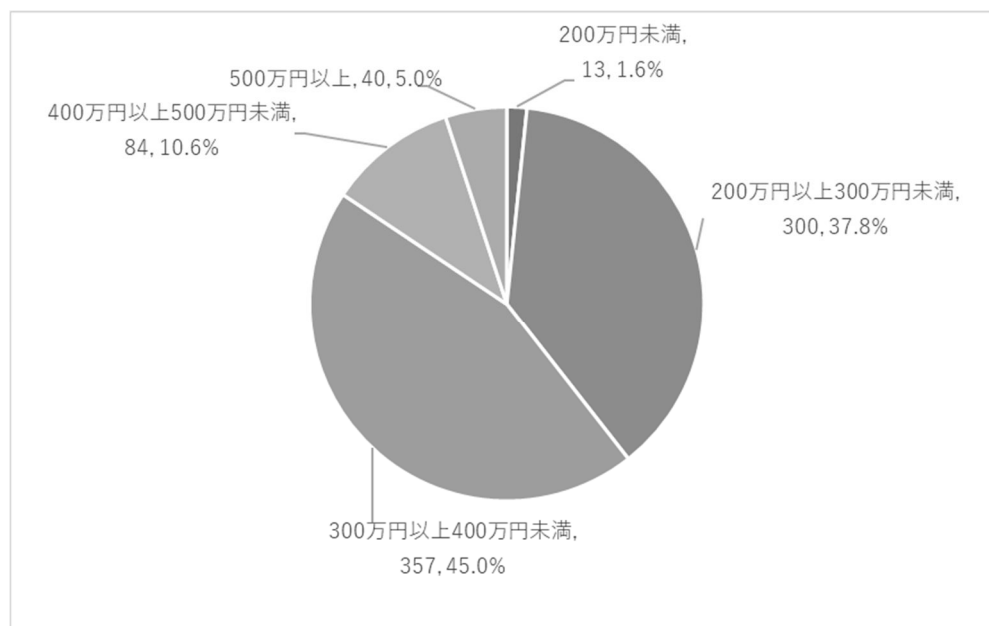


図 1- 29 正規職員の平均給与支払総額の分布 (n=794)

割合は、無回答・不正回答を除いて算出した。

表 1- 63 2018 年度の都道府県別平均年間給与額（正規職員、税込み・万円、n=748）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
北海道	59	325.5	95.4	300.0
青森	11	368.3	149.5	324.0
岩手	8	338.3	157.7	289.0
宮城	11	323.2	89.3	320.0
山形	3	337.3	51.4	330.0
福島	13	288.8	49.4	286.0
茨城	17	356.6	112.5	326.0
栃木	8	276.0	39.5	265.0
群馬	16	325.0	105.3	287.5
埼玉	34	348.5	97.2	318.1
千葉	24	311.4	52.6	300.0
東京	69	349.6	80.4	339.0
神奈川	50	328.5	65.2	320.0
新潟	15	341.6	82.5	320.0
富山	11	375.8	75.8	383.0
石川	6	349.3	48.9	340.0
福井	7	325.3	41.1	339.0
山梨	5	362.0	30.0	361.0
長野	12	357.7	102.9	346.5
岐阜	9	337.3	73.0	315.0
静岡	11	372.6	105.3	300.0
愛知	22	350.8	82.1	344.0
三重	11	378.1	159.7	324.0
滋賀	10	333.1	58.7	328.5
京都	20	325.0	63.4	314.0
大阪	39	315.4	67.6	300.0
兵庫	27	307.3	50.0	300.0
奈良	11	340.6	125.9	317.0

次ページに続く

前ページからの続き

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
和歌山	14	344.0	116.1	306.5
鳥取	3	374.3	89.0	350.0
島根	12	371.2	141.4	351.0
岡山	21	320.1	93.1	306.5
広島	22	343.3	81.7	316.7
山口	17	307.1	96.2	320.0
徳島	4	299.5	120.4	304.0
香川	6	348.3	123.9	303.0
愛媛	13	311.1	44.1	300.0
高知	9	284.4	75.5	280.0
福岡	38	296.0	51.5	285.0
佐賀	10	292.0	64.4	292.0
長崎	13	253.0	40.3	245.0
熊本	22	281.5	51.3	274.0
大分	12	261.0	30.6	250.0
宮崎	8	250.0	85.0	228.0
鹿児島	13	284.2	54.4	292.0
沖縄	6	362.8	143.3	350.0
合計	783	326.2	86.9	306.0

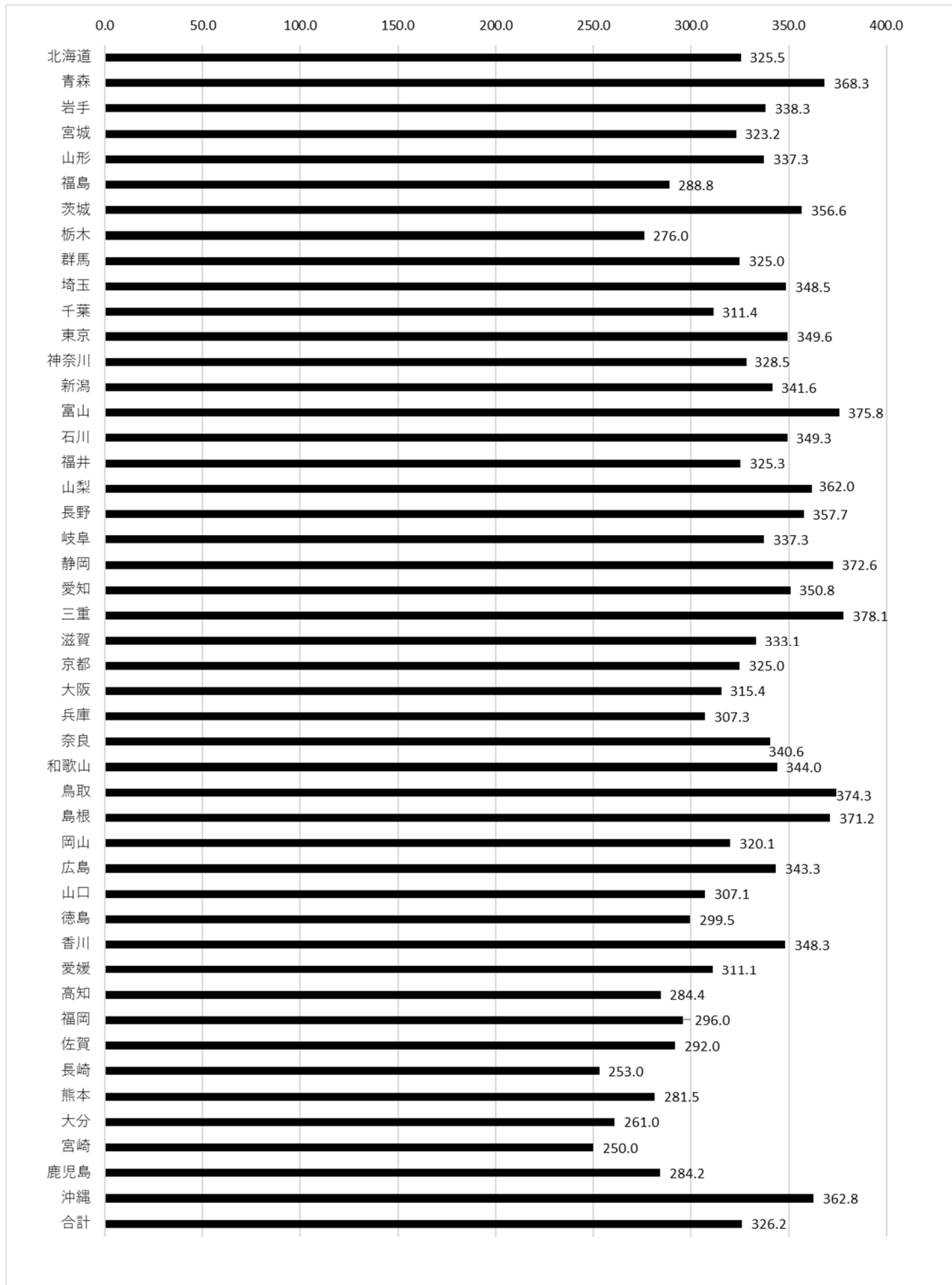


図 1-30 2018 年度の都道府県別平均年間給与額（正規職員、税込み・万円、n=783）

表 1- 64 非正規職員の平均時給

施設数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
784	1,022.1	162.5	720.0	901.3	1,000.0	1,100.0	2,081.0

回答は問7で非正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

千円単位で回答したと思われる場合は、円に換算した。明らかな外れ値は集計から除外した。

表 1- 65 非正規職員の平均時給分布 (n=1,045)

	施設数	割合
1,000 円未満	373	47.6%
1,000 円以上 1,200 円未満	303	38.6%
1,200 円以上 1,400 円未満	85	10.8%
1,400 円以上 1,600 円未満	16	2.0%
1,600 円以上	7	0.9%
無回答・不正回答	261	

回答は問7で非正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

千円単位で回答したと思われる場合は、円に換算した。明らかな外れ値は集計から除外した。

割合は、無回答・不正回答を除いて算出した。

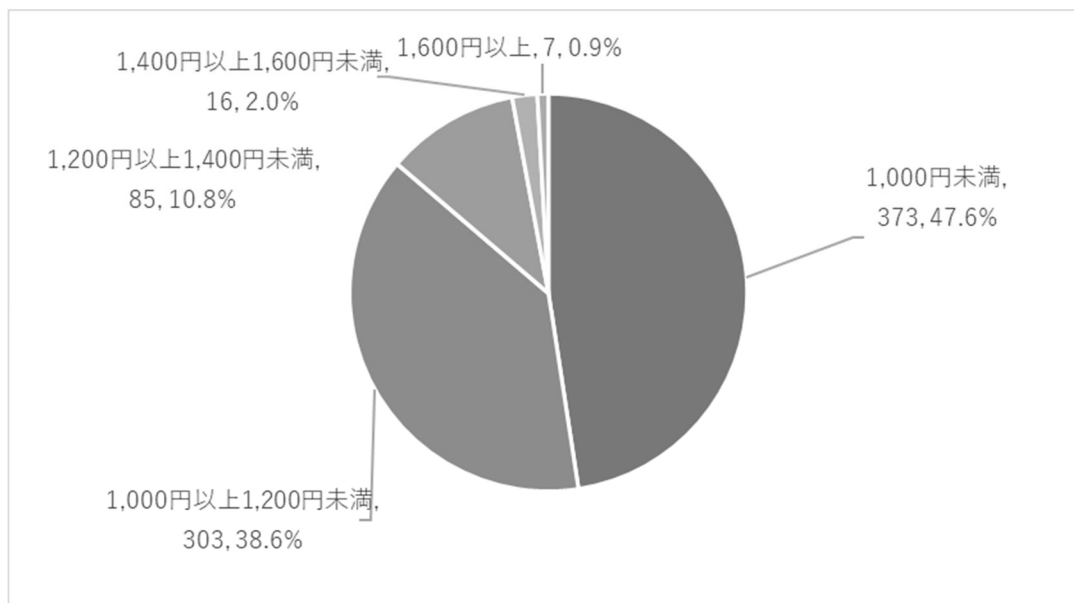


図 1- 31 非正規職員の平均時給分布 (n=784)

割合は、無回答・不正回答を除いて算出した。



表 1- 66 2018 年度の都道府県別平均時給（非正規職員、税込み・円、n=742）

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
北海道	60	963.2	111.5	920.0
青森	13	956.6	145.8	942.0
岩手	15	1072.3	186.5	1100.0
宮城	9	1040.8	158.5	1040.0
秋田	8	902.0	78.6	912.5
山形	10	1001.2	137.1	1008.0
福島	9	926.4	78.3	911.0
茨城	17	1003.5	112.2	1000.0
栃木	5	955.0	107.6	950.0
群馬	9	978.2	129.9	940.0
埼玉	23	1004.8	69.0	980.0
千葉	30	1050.2	115.4	1020.0
東京	63	1244.8	244.2	1200.0
神奈川	49	1095.5	149.8	1040.0
新潟	16	1073.6	162.6	1070.0
富山	9	996.9	118.1	942.0
石川	13	1040.9	121.5	1031.0
福井	6	1018.3	86.6	982.0
山梨	6	1026.4	165.2	988.0
長野	13	995.3	106.7	975.0
岐阜	9	1063.5	142.8	1020.0
静岡	9	1042.3	112.5	1070.0
愛知	28	1074.3	154.3	1004.5
三重	9	1028.1	94.7	1048.0
滋賀	4	1133.8	50.6	1123.0
京都	20	1030.4	121.3	1000.0
大阪	44	1075.3	119.4	1050.0
兵庫	31	1016.5	118.9	1000.0

次ページに続く

前ページからの続き

	施設数	平均値	標準偏差	中央値
奈良	8	973.9	91.2	935.0
和歌山	10	978.2	93.4	981.5
鳥取	2	950.0	70.7	950.0
島根	9	988.7	156.4	930.0
岡山	20	1001.4	135.8	1000.0
広島	19	1023.4	203.1	1000.0
山口	21	998.0	92.0	1000.0
徳島	6	1091.5	246.0	1030.0
香川	10	999.3	144.8	954.0
愛媛	15	944.2	122.6	900.0
高知	6	898.0	117.8	887.5
福岡	31	942.0	108.0	935.0
佐賀	8	904.9	112.6	875.0
長崎	11	865.1	74.2	870.0
熊本	22	901.6	91.5	877.1
大分	11	905.9	108.5	897.0
宮崎	7	869.6	111.6	837.0
鹿児島	12	906.9	162.9	881.0
沖縄	12	930.1	83.2	928.0
合計	778	1022.6	162.7	1000.0

都道府県所在地に回答していない施設は除外。

回答は問7で非正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

千円単位で回答したと思われる場合は、円に換算した。明らかな外れ値は集計から除外した。

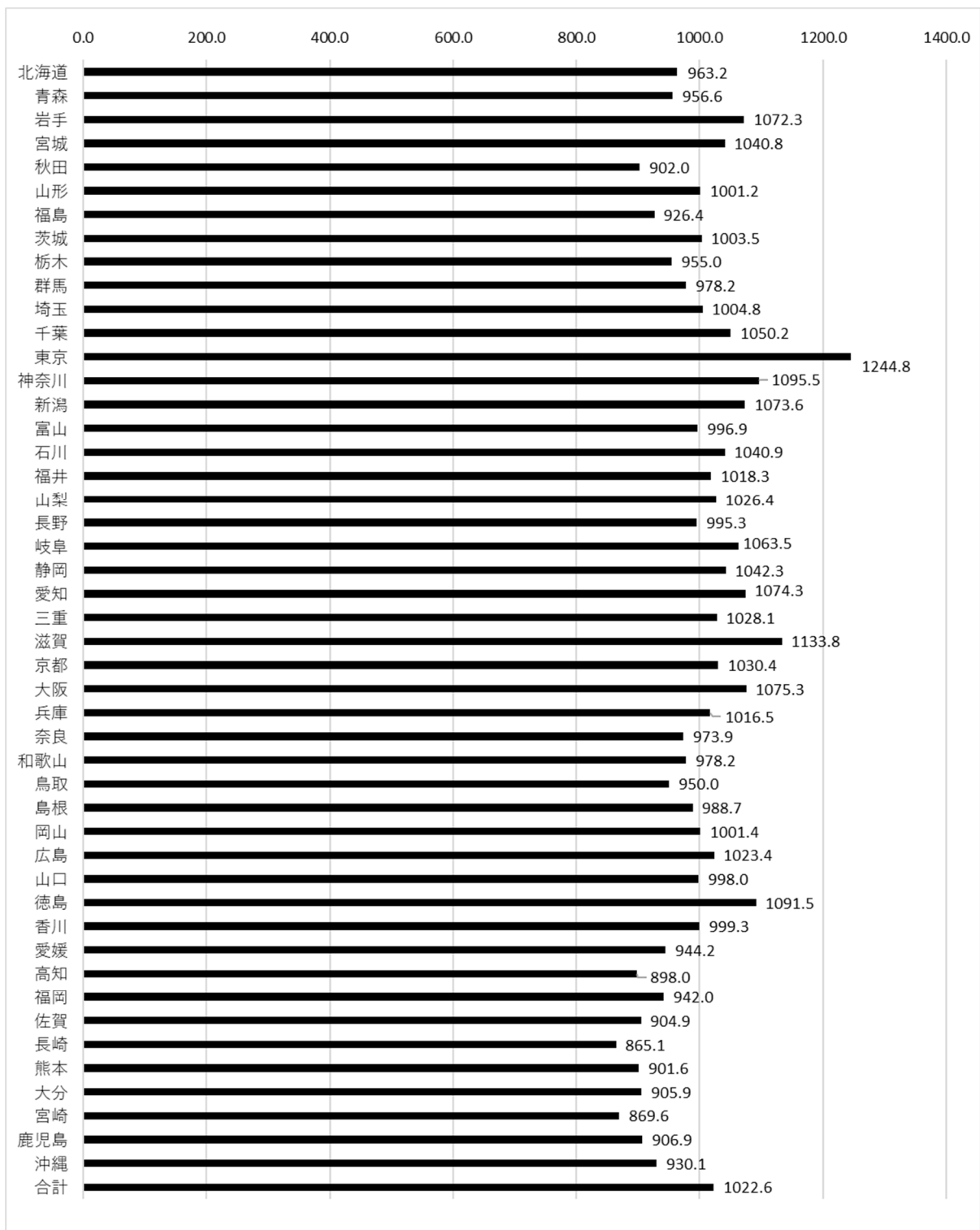


図 1- 32 2018 年度の都道府県別平均時給（非正規職員、税込み・万円、n=778）

表 1- 67 非正規職員の給与計算方法（複数回答、n=1,045）

	施設数	割合
月給制	281	26.9%
日給制	145	13.9%
時給制	779	74.5%

回答は問 7 で非正規職員として直接雇用していると回答した施設のみ。

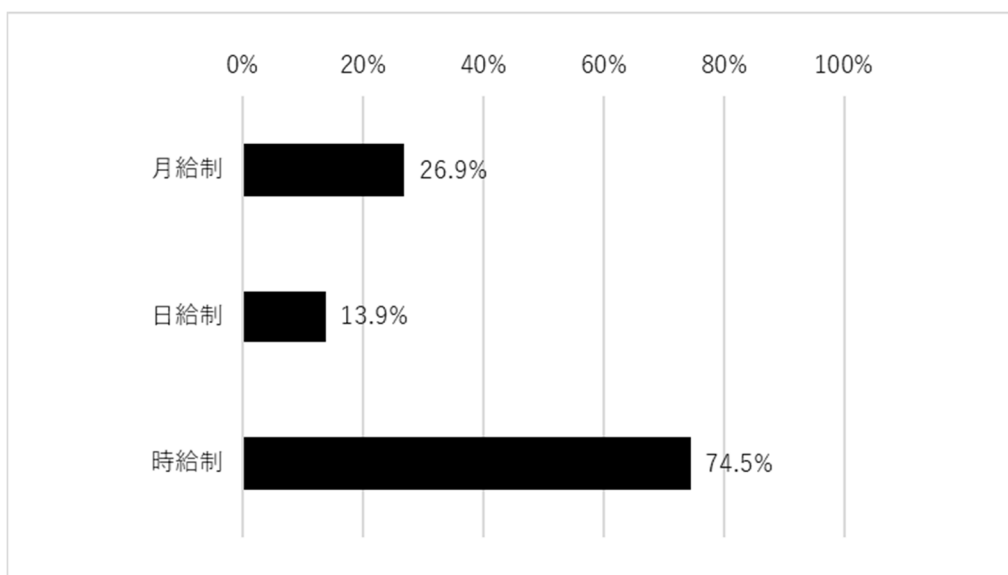


図 1- 33 非正規職員の給与計算方法（複数回答、n=1,045）

表 1- 68 文書による看護補助者の業務規定の有無 (n=1,253)

	施設数	割合
文書で規定している	1,206	96.2%
文書では規定していない	40	3.2%
無回答	7	0.6%

集計対象は、問7で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。

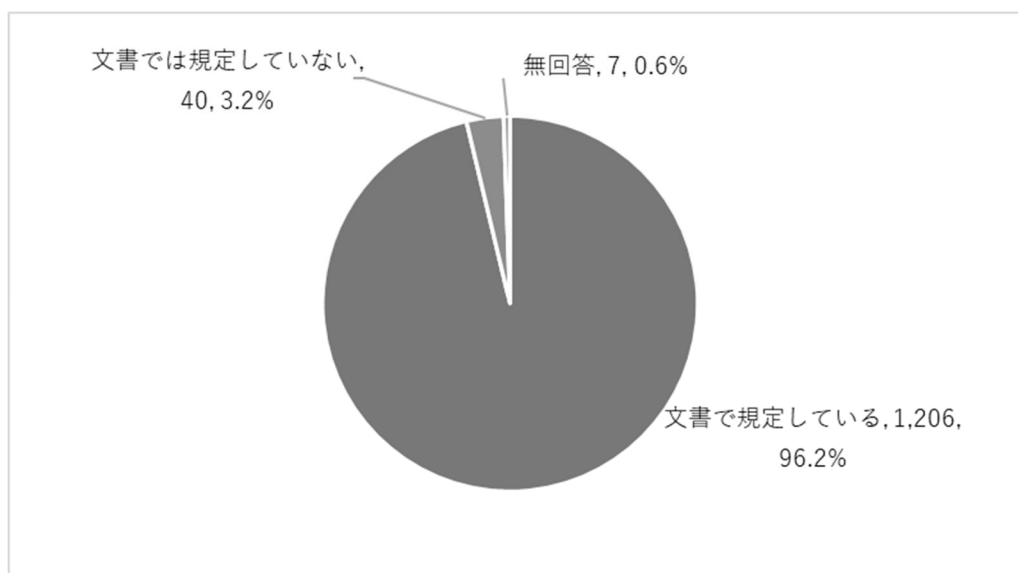


図 1- 34 文書による看護補助者の業務規定の有無 (n=1,253)

表 1- 69 業務規定文書最新版の作成時期 ( n=1,206 )

	施設数	割合
2010 年以前	38	3.2%
2011 年～2013 年	22	1.8%
2014 年～2016 年	166	13.8%
2017 年以降	978	81.1%
無回答	2	0.2%

集計対象は、問 29 で看護補助者の業務を「文書で規定している」と回答した施設。

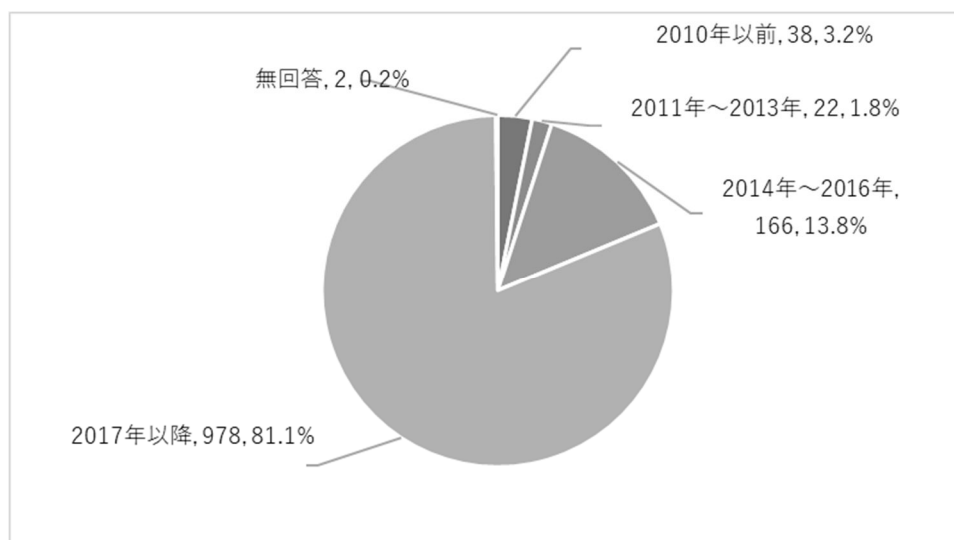


図 1- 35 業務規定文書最新版の作成時期 ( n=1,206 )

表 1- 70 介護福祉士等の有資格者と無資格者として業務を分けているか (n=1,253)

	施設数	割合
分けている	179	14.3%
分けていない	822	65.6%
介護福祉士等はいない	246	19.6%
無回答	6	0.5%

集計対象は、問 7 で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。

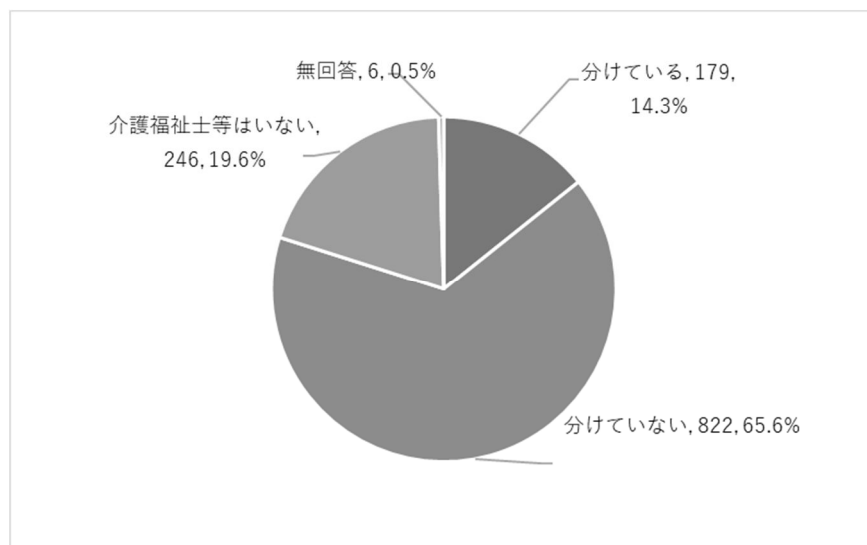


図 1- 36 介護福祉士等の有資格者と無資格者として業務を分けているか (n=1,253)

表 1- 71 看護補助者の業務内容（複数回答、n=1,253）

	現在の業務		今後活用したい業務	
	施設数	割合	施設数	割合
生活環境に関する業務				
病床及び病床周辺の清掃・整頓	1,210	96.6%	20	1.6%
病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）	1,140	91.0%	64	5.1%
シーツ交換やベッドメイキング	1,222	97.5%	9	0.7%
リネン類の管理	1,185	94.6%	22	1.8%
診療の周辺業務				
処置・検査等の伝票類の準備・整備	541	43.2%	327	26.1%
診療に必要な書類の整備・補充	600	47.9%	292	23.3%
入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）	472	37.7%	394	31.4%
薬剤の搬送（運搬）	762	60.8%	201	16.0%
検体・レントゲンフィルムの搬送	872	69.6%	144	11.5%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	836	66.7%	221	17.6%
診療材料の補充・整理	910	72.6%	178	14.2%
日常生活に関わる業務				
食事介助	1,127	89.9%	68	5.4%
配膳・下膳	1,221	97.4%	13	1.0%
口腔ケア	942	75.2%	184	14.7%
身体の清潔に関する業務	1,164	92.9%	51	4.1%
寝衣交換	1,131	90.3%	73	5.8%
おむつ交換	1,115	89.0%	86	6.9%
トイレ介助	1,102	87.9%	83	6.6%
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄	610	48.7%	360	28.7%
安全・安楽に関する業務（体位交換など）	1,020	81.4%	134	10.7%
患者の移動・移送	1,179	94.1%	45	3.6%
見守り	1,123	89.6%	87	6.9%

集計対象は、問7で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。



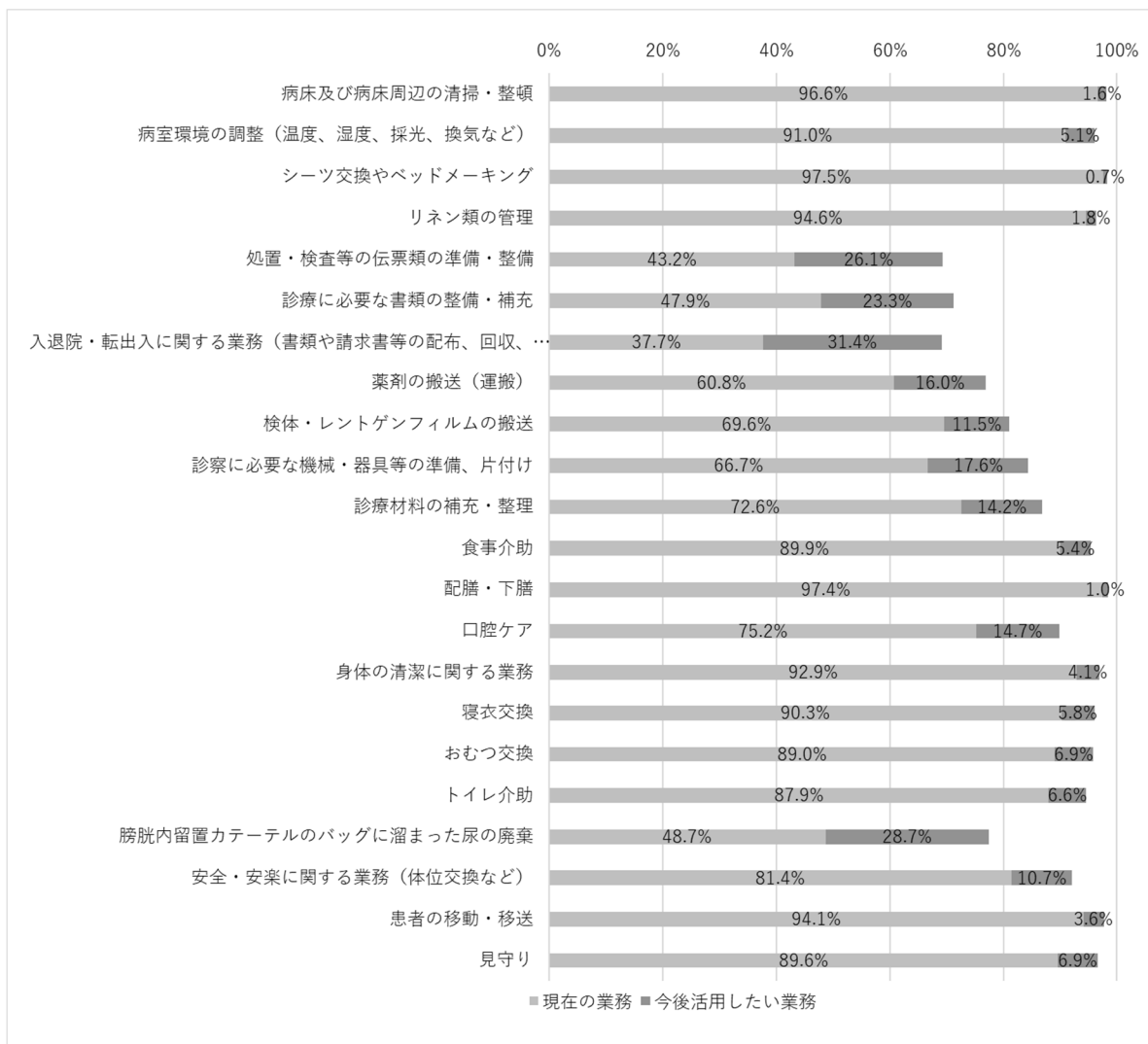


図 1- 37 看護補助者の業務内容 (複数回答、n=1,253)

表 1- 72 看護補助者を活用している業務・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数
レクリエーションやサロン活動の企画・運営・参加	50
患者さんに対する説明や案内、オリエンテーション、荷物点検	37
日用品やおむつの補充、薬品・リース物品・酸素ボンベ・看護用具などの管理	28
物品（吸引瓶、コップ、義歯など）、歩行器具、保育器、スコープの洗浄	27
カンファレンスや委員会への参加や準備	18
死後の処置	16
各種入力記録業務（食事オーダー、検査オーダー、看護に関するデータ）	16
入浴のスケジュール管理・介助	13
集団リハビリテーションやデイケアプログラムの運営・サポート	13
ナースコールへの対応	11
ゴミ出し（可燃物、感染性廃棄物など）	10
経管栄養の準備・介助	9
身長・体重測定	9
外来患者の移動や誘導、見守り	8
医療機器の滅菌・消毒	8
ナースステーション等、病室以外の清掃・滅菌・洗濯	7
一般的な事務作業（コピー、シュレッダーなど）	6
研修への参加・実施	6
外来診察補助	6
手術の介助・手術室のセッティング・物品の準備	6
メッセージ業務・伝票処理	6
配茶・配膳など	6
車椅子、ベッド、ストレッチャーなどの機器点検	6

表 1- 73 看護補助者業務の手順書・補助者用の業務手順書

	施設数	補助者用の業務手順書			
		いる 文書で明確に決まっ て	任 さ れ て い る 文 書 は あ る が 、 詳 細 は	ル ー ル が あ る 文 書 は な く 、 慣 用 的 な	の 指 導 に 任 せ て あ る 文 書 は な く 、 各 看 護 師
生活環境に関する業務					
病床及び病床周辺の清掃・整頓	1,210	60.6%	20.8%	11.5%	3.4%
病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）	1,140	50.3%	22.3%	15.9%	6.9%
シーツ交換やベッドメイキング	1,223	61.4%	18.7%	11.0%	4.3%
リネン類の管理	1,185	52.2%	20.3%	18.5%	4.0%
診療の周辺業務					
処置・検査等の伝票類の準備・整備	541	40.3%	19.2%	21.3%	10.0%
診療に必要な書類の整備・補充	600	35.2%	18.5%	23.7%	11.3%
入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）	472	45.8%	18.4%	15.7%	10.0%
薬剤の搬送（運搬）	762	37.3%	16.9%	25.6%	12.1%
検体・レントゲンフィルムの搬送	872	38.0%	16.4%	25.0%	13.2%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	836	39.7%	18.5%	19.3%	13.9%
診療材料の補充・整理	910	36.7%	18.0%	24.2%	11.9%
日常生活に関わる業務					
食事介助	1,127	61.4%	20.5%	7.7%	6.3%
配膳・下膳	1,221	52.3%	20.0%	16.6%	6.2%
口腔ケア	942	61.3%	20.0%	8.7%	6.3%
身体の清潔に関する業務	1,164	61.7%	19.7%	8.1%	5.7%
寝衣交換	1,131	60.0%	20.3%	9.4%	5.7%
おむつ交換	1,115	62.2%	20.0%	9.1%	5.1%
トイレ介助	1,102	54.0%	21.4%	10.9%	8.5%
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄	610	51.6%	17.7%	14.4%	9.0%
安全・安楽に関する業務（体位交換など）	1,020	59.0%	19.3%	9.3%	7.3%
患者の移動・移送	1,179	60.2%	19.2%	8.8%	7.0%
見守り	1,123	37.3%	17.5%	18.8%	18.7%

表 1- 74 看護補助者業務の手順書・看護師用の委譲手順書

	施設数	看護師用の委譲手順書			
		文書で明確に決まっている	文書はあるが、詳細は任されている	ルールがある 文書はなく、慣用的な	文書はなく、各看護師の指導に任せてある
生活環境に関する業務					
病床及び病床周辺の清掃・整頓	1,210	17.3%	12.1%	20.6%	24.2%
病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）	1,140	15.6%	11.1%	21.5%	25.9%
シーツ交換やベッドメイキング	1,223	19.1%	11.2%	19.7%	24.6%
リネン類の管理	1,185	15.3%	10.6%	22.7%	24.2%
診療の周辺業務					
処置・検査等の伝票類の準備・整備	541	15.7%	11.5%	25.1%	23.3%
診療に必要な書類の整備・補充	600	13.0%	10.5%	25.8%	25.5%
入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）	472	18.0%	10.6%	22.7%	23.9%
薬剤の搬送（運搬）	762	13.1%	11.0%	24.9%	26.0%
検体・レントゲンフィルムの搬送	872	11.9%	10.9%	24.1%	27.8%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	836	12.7%	10.4%	23.0%	27.2%
診療材料の補充・整理	910	12.6%	9.8%	25.1%	26.5%
日常生活に関わる業務					
食事介助	1,127	19.9%	11.4%	17.0%	25.6%
配膳・下膳	1,221	16.0%	11.3%	21.0%	25.2%
口腔ケア	942	20.8%	12.5%	17.4%	24.2%
身体の清潔に関する業務	1,164	20.3%	11.8%	16.7%	25.2%
寝衣交換	1,131	19.7%	12.1%	17.4%	25.1%
おむつ交換	1,115	20.3%	11.7%	17.1%	24.8%
トイレ介助	1,102	17.7%	11.6%	17.4%	27.5%
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄	610	18.2%	10.3%	19.2%	25.7%
安全・安楽に関する業務（体位交換など）	1,020	18.7%	12.3%	17.6%	25.5%
患者の移動・移送	1,179	19.3%	11.5%	17.2%	26.5%
見守り	1,123	12.7%	10.5%	18.5%	31.1%

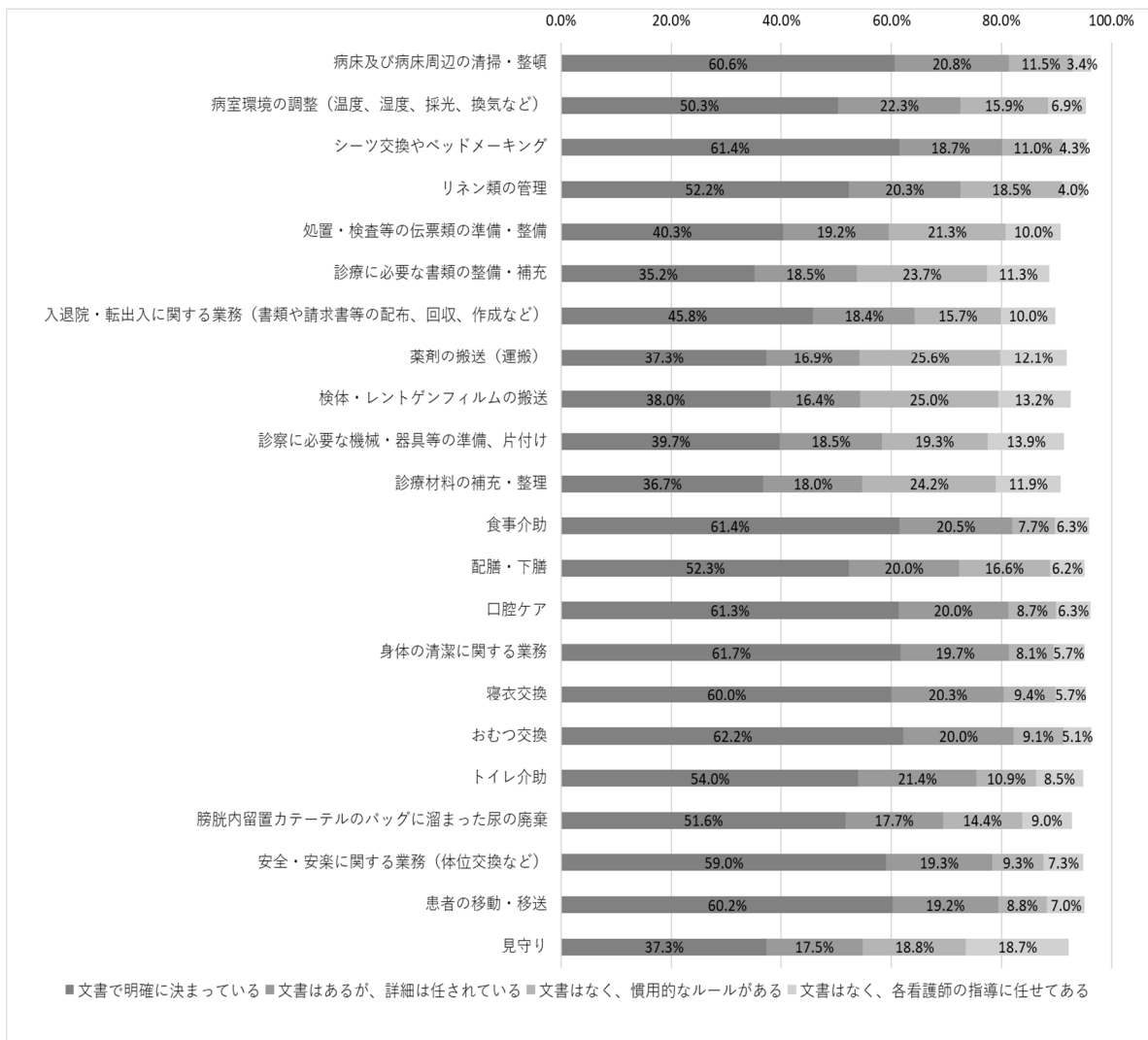


図 1- 38 看護補助者業務の手順書・補助者用の業務手順書  
 （それぞれの分母は業務を行っている施設）

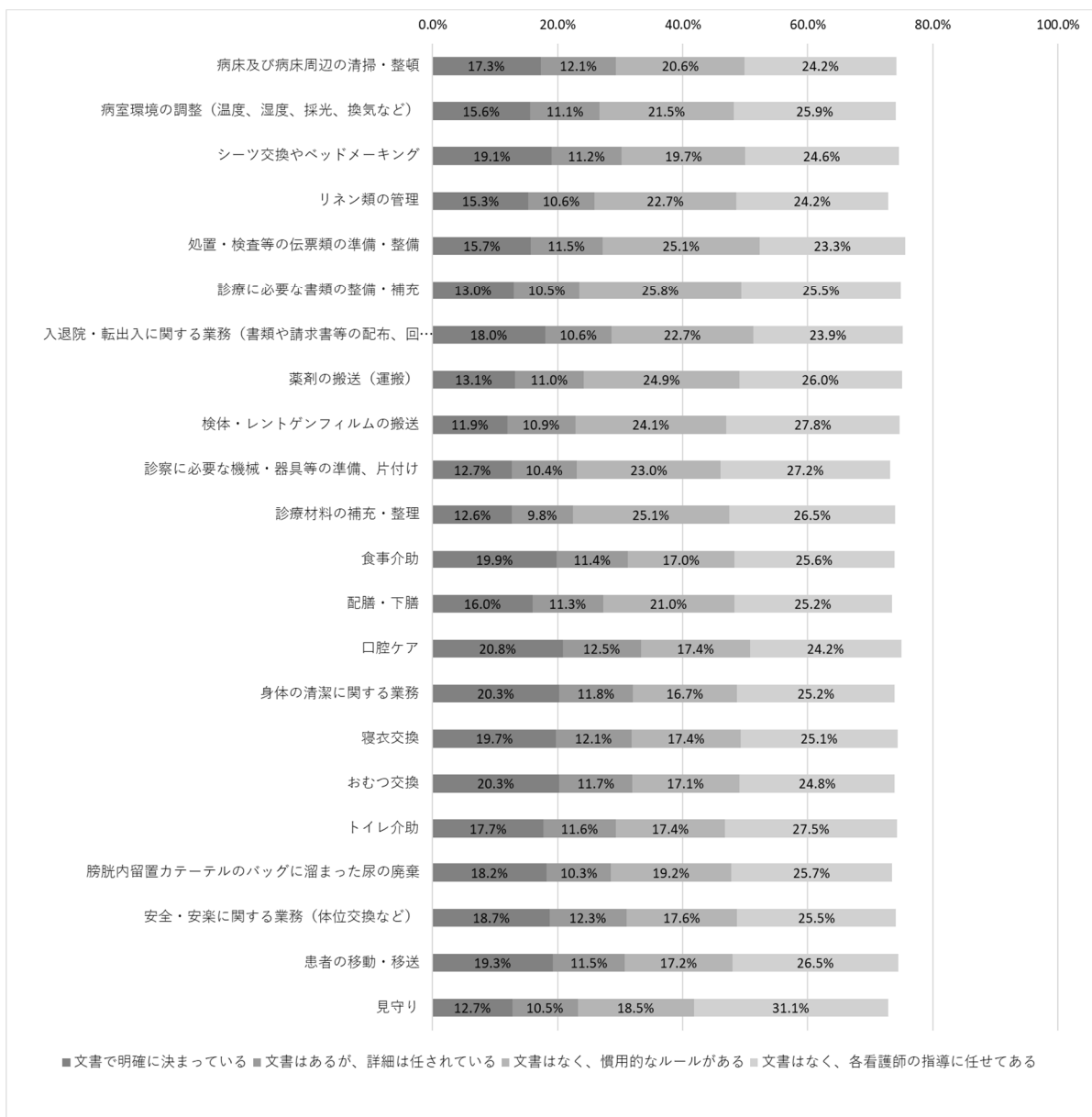


図 1- 39 看護補助者業務の手順書・看護師用の委譲手順書  
（それぞれの分母は業務を行っている施設）

表 1- 75 補助者用業務手順書の整備状況と雇用形態パターンのクロス集計

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
生活環境に関する業務											
病床及び 病床周辺 の清掃・ 整頓	文書で明確に 決まっている	92	57.1%	465	62.8%	144	66.1%	29	76.3%	3	42.9%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	38	23.6%	156	21.1%	50	22.9%	4	10.5%	4	57.1%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	23	14.3%	97	13.1%	16	7.3%	3	7.9%	0	0.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	8	5.0%	23	3.1%	8	3.7%	2	5.3%	0	0.0%
病室環境 の調整 (温度、 湿度、採 光、換気 など)	文書で明確に 決まっている	79	49.4%	369	53.0%	108	55.1%	15	50.0%	2	40.0%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	39	24.4%	163	23.4%	44	22.4%	5	16.7%	3	60.0%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	33	20.6%	118	17.0%	24	12.2%	6	20.0%	0	0.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	9	5.6%	46	6.6%	20	10.2%	4	13.3%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
シーツ交換やベッドメイキング	文書で明確に決まっている	99	59.6%	485	65.3%	137	64.0%	26	68.4%	4	57.1%
	文書はあるが、詳細は任されている	32	19.3%	147	19.8%	40	18.7%	7	18.4%	3	42.9%
	文書はなく、慣用的なルールがある	27	16.3%	81	10.9%	23	10.7%	4	10.5%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	8	4.8%	30	4.0%	14	6.5%	1	2.6%	0	0.0%
リネン類の管理	文書で明確に決まっている	89	54.9%	394	55.0%	112	54.6%	21	56.8%	3	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	31	19.1%	156	21.8%	43	21.0%	8	21.6%	3	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	35	21.6%	140	19.6%	36	17.6%	8	21.6%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	7	4.3%	26	3.6%	14	6.8%	0	0.0%	0	0.0%

次ページへ続く



前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
診療の周辺業務											
処置・検査等の伝票類の準備・整備	文書で明確に決まっている	27	45.0%	135	44.4%	49	47.1%	6	28.6%	1	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	16	26.7%	59	19.4%	24	23.1%	4	19.0%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	9	15.0%	80	26.3%	18	17.3%	8	38.1%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	8	13.3%	30	9.9%	13	12.5%	3	14.3%	0	0.0%
診療に必要な書類の整備・補充	文書で明確に決まっている	21	30.0%	135	41.2%	48	43.2%	6	27.3%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	21	30.0%	60	18.3%	26	23.4%	4	18.2%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	14	20.0%	99	30.2%	22	19.8%	7	31.8%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	14	20.0%	34	10.4%	15	13.5%	5	22.7%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
入退院・転出入に関する業務(書類や請求書等の配布、回収、作成など)	文書で明確に決まっている	23	43.4%	143	52.4%	44	53.7%	6	37.5%	0	
	文書はあるが、詳細は任されている	15	28.3%	53	19.4%	16	19.5%	3	18.8%	0	
	文書はなく、慣用的なルールがある	7	13.2%	53	19.4%	9	11.0%	5	31.3%	0	
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	8	15.1%	24	8.8%	13	15.9%	2	12.5%	0	
薬剤の搬送(運搬)	文書で明確に決まっている	26	37.7%	177	40.6%	66	42.0%	13	39.4%	2	40.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	11	15.9%	72	16.5%	36	22.9%	8	24.2%	2	40.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	20	29.0%	132	30.3%	31	19.7%	11	33.3%	1	20.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	12	17.4%	55	12.6%	24	15.3%	1	3.0%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
検体・レントゲンの搬送	文書で明確に決まっている	29	33.0%	213	42.1%	75	42.6%	12	37.5%	2	40.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	17	19.3%	76	15.0%	42	23.9%	7	21.9%	1	20.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	24	27.3%	148	29.2%	33	18.8%	11	34.4%	2	40.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	18	20.5%	69	13.6%	26	14.8%	2	6.3%	0	0.0%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	文書で明確に決まっている	29	33.3%	210	44.6%	78	46.7%	13	38.2%	2	40.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	24	27.6%	90	19.1%	34	20.4%	6	17.6%	1	20.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	16	18.4%	105	22.3%	26	15.6%	12	35.3%	2	40.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	18	20.7%	66	14.0%	29	17.4%	3	8.8%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + ( 非 正規職員 or 派 遣職員 or 業務 委託 )		非正規職員のみ		非正規職員 + ( 派遣職員 or 業務委託 )		派遣職員 or 業務 委託	
		施設 数	割合	施設 数	割合	施設 数	割合	施設 数	割合	施設 数	割合
診療材料 の補充・ 整理	文書で明確に 決まっている	35	33.7%	210	40.9%	73	43.5%	14	40.0%	2	40.0%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	22	21.2%	100	19.5%	34	20.2%	7	20.0%	1	20.0%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	25	24.0%	143	27.8%	38	22.6%	12	34.3%	2	40.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	22	21.2%	61	11.9%	23	13.7%	2	5.7%	0	0.0%
日常生活に関わる業務											
食事介助	文書で明確に 決まっている	83	55.3%	469	65.2%	115	64.2%	24	77.4%	1	50.0%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	36	24.0%	157	21.8%	32	17.9%	5	16.1%	1	50.0%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	16	10.7%	59	8.2%	11	6.1%	1	3.2%	0	0.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	15	10.0%	34	4.7%	21	11.7%	1	3.2%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
配膳・下膳	文書で明確に決まっている	83	50.6%	408	54.7%	121	58.5%	23	60.5%	3	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	33	20.1%	165	22.1%	39	18.8%	4	10.5%	3	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	35	21.3%	138	18.5%	22	10.6%	8	21.1%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	13	7.9%	35	4.7%	25	12.1%	3	7.9%	0	0.0%
口腔ケア	文書で明確に決まっている	65	50.8%	406	65.8%	90	65.7%	15	65.2%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	30	23.4%	129	20.9%	26	19.0%	3	13.0%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	17	13.3%	51	8.3%	10	7.3%	4	17.4%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	16	12.5%	31	5.0%	11	8.0%	1	4.3%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
身体の清潔に関する業務	文書で明確に決まっている	89	58.2%	476	65.2%	128	67.0%	24	80.0%	1	33.3%
	文書はあるが、詳細は任されている	36	23.5%	157	21.5%	32	16.8%	3	10.0%	1	33.3%
	文書はなく、慣用的なルールがある	18	11.8%	60	8.2%	13	6.8%	2	6.7%	1	33.3%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	10	6.5%	37	5.1%	18	9.4%	1	3.3%	0	0.0%
寝衣交換	文書で明確に決まっている	85	56.3%	461	64.0%	112	62.9%	20	71.4%	1	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	36	23.8%	155	21.5%	34	19.1%	4	14.3%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	20	13.2%	66	9.2%	17	9.6%	3	10.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	10	6.6%	38	5.3%	15	8.4%	1	3.6%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
おむつ交換	文書で明確に決まっている	88	59.5%	474	65.5%	109	63.7%	21	70.0%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	34	23.0%	153	21.1%	32	18.7%	4	13.3%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	15	10.1%	69	9.5%	14	8.2%	3	10.0%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	11	7.4%	28	3.9%	16	9.4%	2	6.7%	0	0.0%
トイレ介助	文書で明確に決まっている	76	51.4%	420	59.4%	83	52.5%	16	53.3%	0	0.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	37	25.0%	157	22.2%	39	24.7%	2	6.7%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	19	12.8%	80	11.3%	17	10.8%	4	13.3%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	16	10.8%	50	7.1%	19	12.0%	8	26.7%	1	50.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄	文書で明確に決まっている	39	54.2%	217	56.1%	50	55.6%	8	53.3%	1	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	18	25.0%	72	18.6%	16	17.8%	1	6.7%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	7	9.7%	64	16.5%	13	14.4%	4	26.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	8	11.1%	34	8.8%	11	12.2%	2	13.3%	0	0.0%
安全・安楽に関する業務(体位交換など)	文書で明確に決まっている	79	59.0%	418	63.0%	91	61.1%	14	66.7%	0	
	文書はあるが、詳細は任されている	28	20.9%	138	20.8%	29	19.5%	2	9.5%	0	
	文書はなく、慣用的なルールがある	17	12.7%	64	9.6%	13	8.7%	1	4.8%	0	
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	10	7.5%	44	6.6%	16	10.7%	4	19.0%	0	

次ページへ続く



前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
患者の移動・移送	文書で明確に決まっている	87	56.5%	464	64.1%	127	63.8%	29	76.3%	3	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	35	22.7%	150	20.7%	35	17.6%	4	10.5%	2	33.3%
	文書はなく、慣用的なルールがある	19	12.3%	66	9.1%	15	7.5%	3	7.9%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	13	8.4%	44	6.1%	22	11.1%	2	5.3%	1	16.7%
見守り	文書で明確に決まっている	60	42.9%	281	41.0%	67	39.2%	9	26.5%	2	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	32	22.9%	130	19.0%	29	17.0%	4	11.8%	1	25.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	24	17.1%	148	21.6%	30	17.5%	8	23.5%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	24	17.1%	127	18.5%	45	26.3%	13	38.2%	1	25.0%

表 1-76 看護師用委譲手順書の整備状況と雇用形態パターンのクロス集計

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
生活環境に関する業務											
病床及び 病床周辺 の清掃・ 整頓	文書で明確に 決まっている	27	21.6%	126	22.7%	48	26.7%	5	15.6%	3	60.0%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	26	20.8%	86	15.5%	29	16.1%	3	9.4%	2	40.0%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	34	27.2%	161	29.0%	45	25.0%	9	28.1%	0	0.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	38	30.4%	182	32.8%	58	32.2%	15	46.9%	0	0.0%
病室環境 の調整 (温度、 湿度、採 光、換気 など)	文書で明確に 決まっている	24	18.9%	107	20.5%	41	25.2%	4	14.8%	2	50.0%
	文書はあるが、 詳細は任され ている	23	18.1%	72	13.8%	28	17.2%	1	3.7%	2	50.0%
	文書はなく、慣 用的なルール がある	39	30.7%	159	30.4%	40	24.5%	7	25.9%	0	0.0%
	文書はなく、各 看護師の指導 に任せてある	41	32.3%	185	35.4%	54	33.1%	15	55.6%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
シーツ交換やベッドメイキング	文書で明確に決まっている	32	24.2%	142	25.3%	51	28.3%	5	15.2%	3	60.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	23	17.4%	79	14.1%	31	17.2%	2	6.1%	2	40.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	35	26.5%	157	27.9%	39	21.7%	10	30.3%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	42	31.8%	184	32.7%	59	32.8%	16	48.5%	0	0.0%
リネン類の管理	文書で明確に決まっている	25	19.7%	113	21.1%	39	23.5%	2	6.5%	2	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	21	16.5%	75	14.0%	26	15.7%	2	6.5%	2	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	43	33.9%	164	30.7%	50	30.1%	12	38.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	38	29.9%	183	34.2%	51	30.7%	15	48.4%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
診療の周辺業務											
処置・検査等の伝票類の準備・整備	文書で明確に決まっている	8	15.4%	54	21.3%	21	25.0%	1	5.3%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	9	17.3%	37	14.6%	14	16.7%	2	10.5%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	18	34.6%	81	32.0%	28	33.3%	9	47.4%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	17	32.7%	81	32.0%	21	25.0%	7	36.8%	0	0.0%
診療に必要な書類の整備・補充	文書で明確に決まっている	6	9.5%	53	19.4%	18	19.6%	0	0.0%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	12	19.0%	32	11.7%	17	18.5%	2	10.0%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	20	31.7%	97	35.5%	30	32.6%	8	40.0%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	25	39.7%	91	33.3%	27	29.3%	10	50.0%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
入退院・転出入に関する業務(書類や請求書等の配布、回収、作成など)	文書で明確に決まっている	8	17.4%	57	25.0%	19	28.8%	1	6.7%	0	
	文書はあるが、詳細は任されている	9	19.6%	29	12.7%	11	16.7%	1	6.7%	0	
	文書はなく、慣用的なルールがある	14	30.4%	69	30.3%	18	27.3%	6	40.0%	0	
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	15	32.6%	73	32.0%	18	27.3%	7	46.7%	0	
薬剤の搬送(運搬)	文書で明確に決まっている	10	16.9%	61	17.6%	25	18.8%	3	9.7%	1	33.3%
	文書はあるが、詳細は任されている	8	13.6%	45	13.0%	25	18.8%	4	12.9%	2	66.7%
	文書はなく、慣用的なルールがある	19	32.2%	118	34.1%	40	30.1%	13	41.9%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	22	37.3%	122	35.3%	43	32.3%	11	35.5%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
検体・レントゲンの搬送	文書で明確に決まっている	9	12.5%	65	16.2%	27	18.6%	2	6.9%	1	33.3%
	文書はあるが、詳細は任されている	10	13.9%	51	12.7%	29	20.0%	4	13.8%	1	33.3%
	文書はなく、慣用的なルールがある	20	27.8%	133	33.1%	42	29.0%	14	48.3%	1	33.3%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	33	45.8%	153	38.1%	47	32.4%	9	31.0%	0	0.0%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	文書で明確に決まっている	11	15.1%	68	18.4%	25	18.5%	1	3.2%	1	33.3%
	文書はあるが、詳細は任されている	10	13.7%	50	13.5%	23	17.0%	3	9.7%	1	33.3%
	文書はなく、慣用的なルールがある	18	24.7%	121	32.7%	39	28.9%	13	41.9%	1	33.3%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	34	46.6%	131	35.4%	48	35.6%	14	45.2%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
診療材料の補充・整理	文書で明確に決まっている	10	11.6%	79	19.0%	23	16.8%	2	6.3%	1	33.3%
	文書はあるが、詳細は任されている	9	10.5%	52	12.5%	23	16.8%	4	12.5%	1	33.3%
	文書はなく、慣用的なルールがある	27	31.4%	144	34.7%	43	31.4%	13	40.6%	1	33.3%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	40	46.5%	140	33.7%	48	35.0%	13	40.6%	0	0.0%
日常生活に関わる業務											
食事介助	文書で明確に決まっている	32	28.1%	135	25.1%	47	31.8%	9	29.0%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	20	17.5%	79	14.7%	25	16.9%	4	12.9%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	25	21.9%	133	24.7%	27	18.2%	7	22.6%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	37	32.5%	191	35.5%	49	33.1%	11	35.5%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
配膳・下膳	文書で明確に決まっている	26	20.2%	111	20.1%	49	28.2%	6	16.7%	3	60.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	21	16.3%	85	15.4%	26	14.9%	4	11.1%	2	40.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	37	28.7%	172	31.1%	35	20.1%	12	33.3%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	45	34.9%	185	33.5%	64	36.8%	14	38.9%	0	0.0%
口腔ケア	文書で明確に決まっている	25	24.3%	131	28.1%	34	29.8%	5	22.7%	1	100.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	22	21.4%	68	14.6%	24	21.1%	4	18.2%	0	0.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	20	19.4%	114	24.5%	25	21.9%	5	22.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	36	35.0%	153	32.8%	31	27.2%	8	36.4%	0	0.0%

次ページへ続く



前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
身体の清潔に関する業務	文書で明確に決まっている	31	25.4%	147	26.7%	51	32.7%	7	24.1%	0	0.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	25	20.5%	78	14.2%	28	17.9%	4	13.8%	2	100.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	26	21.3%	133	24.1%	29	18.6%	6	20.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	40	32.8%	193	35.0%	48	30.8%	12	41.4%	0	0.0%
寝衣交換	文書で明確に決まっている	28	23.7%	138	25.4%	49	32.5%	8	29.6%	0	0.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	25	21.2%	81	14.9%	27	17.9%	2	7.4%	2	100.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	28	23.7%	134	24.7%	27	17.9%	8	29.6%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	37	31.4%	190	35.0%	48	31.8%	9	33.3%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
おむつ交換	文書で明確に決まっている	29	25.2%	139	25.9%	50	35.0%	8	27.6%	0	0.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	24	20.9%	77	14.4%	25	17.5%	3	10.3%	1	100.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	27	23.5%	132	24.6%	25	17.5%	7	24.1%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	35	30.4%	188	35.1%	43	30.1%	11	37.9%	0	0.0%
トイレ介助	文書で明確に決まっている	27	23.3%	127	23.8%	36	25.9%	5	17.2%	0	0.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	26	22.4%	71	13.3%	28	20.1%	2	6.9%	1	100.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	24	20.7%	134	25.1%	27	19.4%	7	24.1%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	39	33.6%	201	37.7%	48	34.5%	15	51.7%	0	0.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿の廃棄	文書で明確に決まっている	16	25.0%	74	25.0%	18	25.0%	2	14.3%	1	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	12	18.8%	35	11.8%	14	19.4%	1	7.1%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	11	17.2%	83	28.0%	18	25.0%	5	35.7%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	25	39.1%	104	35.1%	22	30.6%	6	42.9%	0	0.0%
安全・安楽に関する業務(体位交換など)	文書で明確に決まっている	24	22.0%	127	25.2%	37	29.8%	3	15.0%	0	
	文書はあるが、詳細は任されている	22	20.2%	75	14.9%	25	20.2%	3	15.0%	0	
	文書はなく、慣用的なルールがある	26	23.9%	127	25.2%	23	18.5%	4	20.0%	0	
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	37	33.9%	174	34.6%	39	31.5%	10	50.0%	0	

次ページへ続く

前ページからの続き

		正規職員のみ		正規職員 + (非正規職員 or 派遣職員 or 業務委託)		非正規職員のみ		非正規職員 + (派遣職員 or 業務委託)		派遣職員 or 業務委託	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
患者の移動・移送	文書で明確に決まっている	27	22.0%	137	25.0%	53	32.1%	8	22.2%	2	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	23	18.7%	79	14.4%	27	16.4%	4	11.1%	2	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	29	23.6%	139	25.3%	26	15.8%	8	22.2%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	44	35.8%	194	35.3%	59	35.8%	16	44.4%	0	0.0%
見守り	文書で明確に決まっている	16	14.4%	93	17.6%	29	19.7%	4	13.3%	1	50.0%
	文書はあるが、詳細は任されている	22	19.8%	70	13.3%	24	16.3%	1	3.3%	1	50.0%
	文書はなく、慣用的なルールがある	29	26.1%	141	26.8%	30	20.4%	7	23.3%	0	0.0%
	文書はなく、各看護師の指導に任せてある	44	39.6%	223	42.3%	64	43.5%	18	60.0%	0	0.0%

表 1- 77 看護補助者の役割 ( n=1,253 )

	施設数	割合
患者ケアを看護職と共に担う看護チームのメンバーである	1,078	86.0%
患者ケアの一部は担うが、看護チームのメンバーというより、指示で業務を行う補助者である	133	10.6%
患者ケアは看護職だけで行うので、看護職の周辺業務のみ行う補助者である	27	2.2%
その他	3	0.2%
無回答	12	1.0%

集計対象は、問 7 で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。

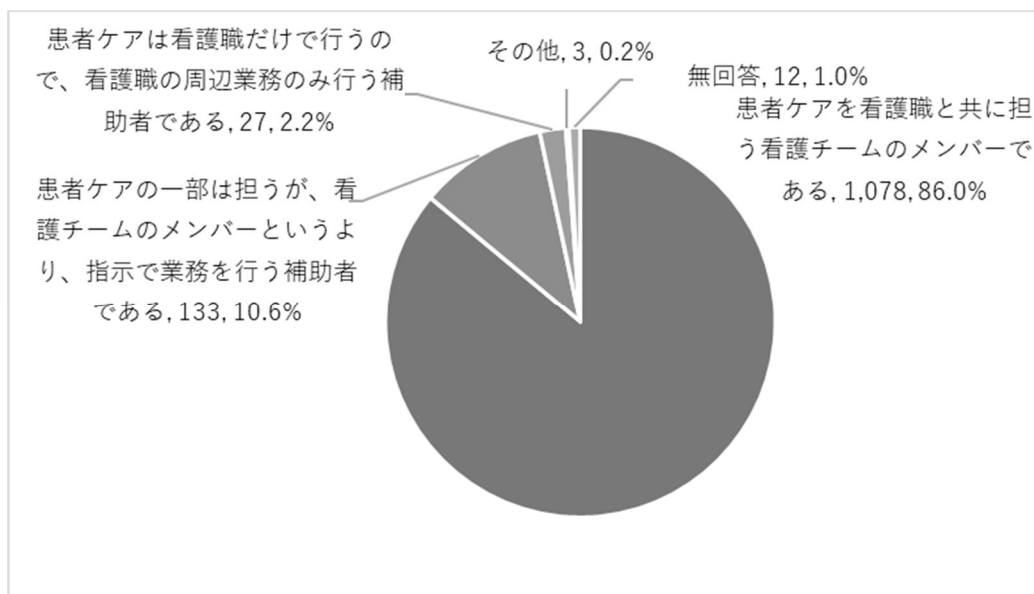


図 1- 40 看護補助者の役割 ( n=1,253 )

表 1- 78 看護補助者を活用する上での課題（複数回答、n=1,253）

	施設数	割合
看護補助者数の確保	1,031	82.3%
看護補助者の能力・適性	952	76.0%
看護職と看護補助者の明確な業務区分	330	26.3%
看護職の看護補助者への的確な指示・業務委譲	671	53.6%
看護職と看護補助者とのチームワーク	696	55.5%
看護補助者の有効な活用に関する病棟師長等の理解	300	23.9%
看護補助者活用に関する病院方針の明確化	189	15.1%
その他	41	3.3%

集計対象は、問7で「現在、看護補助者を活用していない」と回答した施設以外。

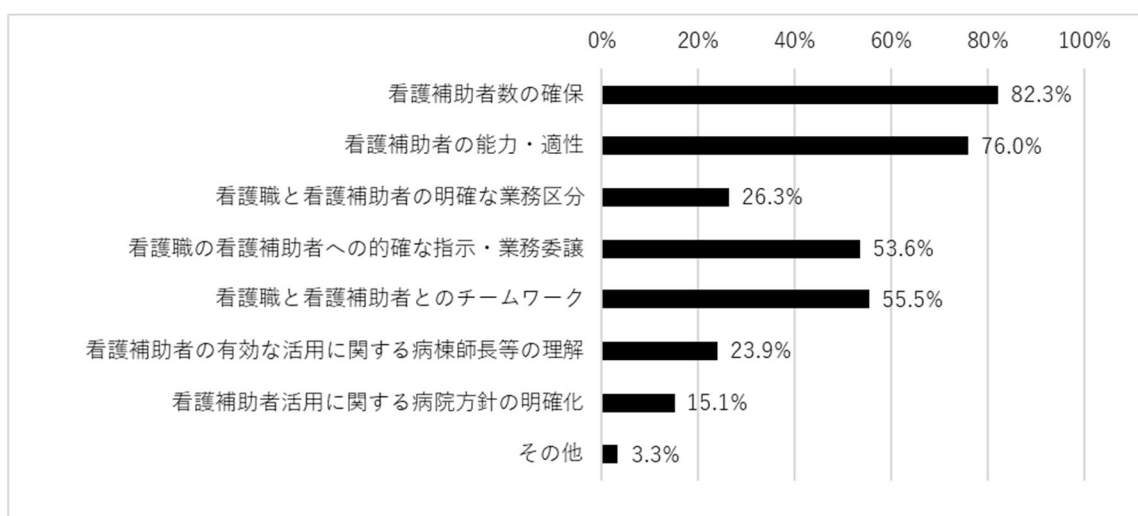


図 1- 41 看護補助者を活用する上での課題（複数回答、n=1,253）

表 1- 79 看護補助者の活用を進める上での課題・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数
看護補助者の教育	6
看護補助者間の人間関係	5

表 1- 80 看護補助者の活用を進める上での課題と看護補助者の充足度に関する回答のクロス集計

		看護補助者の充足度							
		十分充足している		まあ充足している		やや不足している		非常に不足している	
		施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
看護補助者の活用を進める上での課題									
看護補助者数の確保	いいえ	41	87.2%	131	47.3%	46	7.8%	4	1.2%
	はい	6	12.8%	146	52.7%	546	92.2%	330	98.8%
看護補助者の能力・適性	いいえ	22	46.8%	72	26.0%	136	22.9%	71	21.3%
	はい	25	53.2%	205	74.0%	457	77.1%	263	78.7%
看護職と看護補助者の明確な業務区分	いいえ	32	68.1%	200	72.2%	449	75.8%	240	71.9%
	はい	15	31.9%	77	27.8%	143	24.2%	94	28.1%
看護職の看護補助者への的確な指示・業務委譲	いいえ	21	44.7%	119	43.0%	284	48.0%	157	47.0%
	はい	26	55.3%	158	57.0%	308	52.0%	177	53.0%
看護職と看護補助者とのチームワーク	いいえ	19	40.4%	128	46.2%	263	44.4%	145	43.4%
	はい	28	59.6%	149	53.8%	329	55.6%	189	56.6%
看護補助者の有効な活用に関する病棟師長等の理解	いいえ	35	74.5%	222	80.1%	445	75.2%	249	74.6%
	はい	12	25.5%	55	19.9%	147	24.8%	85	25.4%
看護補助者活用に関する病院方針の明確化	いいえ	40	85.1%	242	87.4%	503	85.0%	276	82.6%
	はい	7	14.9%	35	12.6%	89	15.0%	58	17.4%

表 1- 81 看護補助者に関する研修の実施状況（複数回答、n=1,253）

	施設数	割合
看護補助者を対象とした定期研修（年1回など）を実施している	1,040	83.0%
看護補助者を対象として、年1回の定期研修以外に、部署配置前に研修を実施している	461	36.8%
看護補助者である正規職員と非正規職員に対し同じ研修を実施している	782	62.4%
短時間就労者を含め、すべての看護補助者に対し、研修を実施している	762	60.8%
看護師長を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している	189	15.1%
看護職を対象とした看護補助者との協働についての研修を実施している	157	12.5%
チーム作りの為に看護職と看護補助者一緒に研修を実施している	492	39.3%
その他	76	6.1%

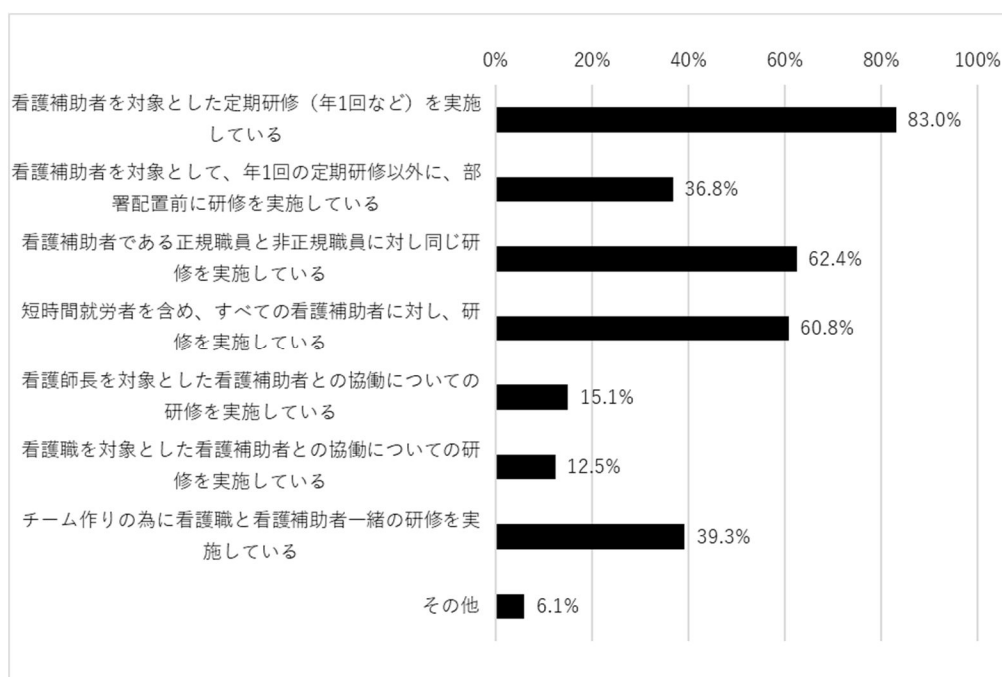


図 1- 42 看護補助者に関する研修の実施状況（複数回答、n=1,253）

表 1- 82 実施している看護補助者に関する研修・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数
e ラーニング	13
院外研修に参加	12
研修内容についての記載	8



表 1- 83 看護補助者対象の研修実施状況・内容別 (n=1,253)

	実施しており過不足はない		実施しているが強化が必要		実施していない		無回答	
	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合	施設数	割合
医療制度の概要および病院の機能と組織の理解	388	31.0%	674	53.8%	177	14.1%	14	1.1%
医療チームおよび看護チームの一員としての看護補助業務の理解	354	28.3%	759	60.6%	128	10.2%	12	1.0%
看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・理解	340	27.1%	827	66.0%	72	5.7%	14	1.1%
日常生活に関わる業務	414	33.0%	767	61.2%	59	4.7%	13	1.0%
守秘義務、個人情報の保護	541	43.2%	647	51.6%	50	4.0%	15	1.2%
看護補助業務における医療安全と感染防止	526	42.0%	704	56.2%	10	0.8%	13	1.0%

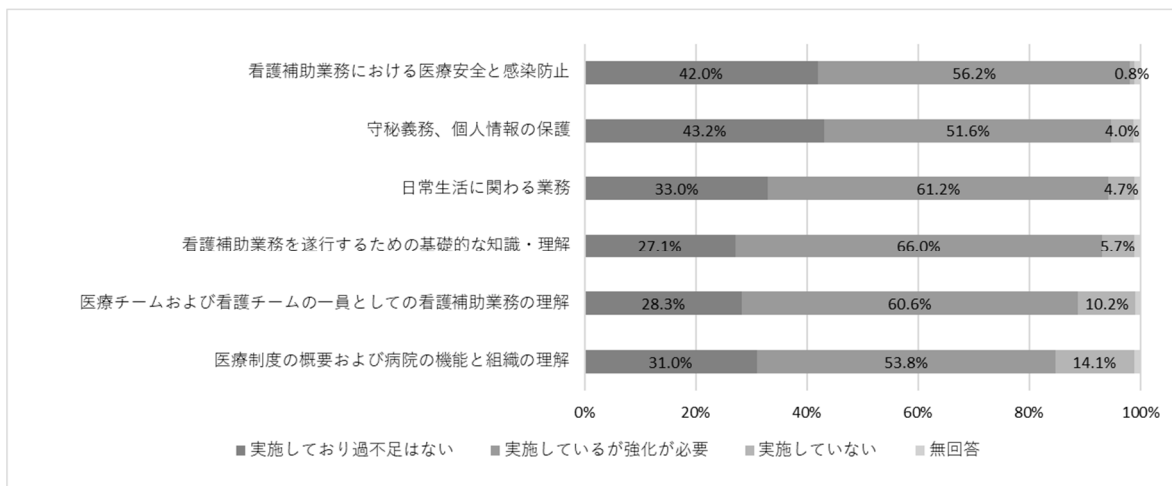


図 1- 43 看護補助者対象の研修実施状況・内容別 (n=1,253)

表 1- 84 研修としてさらに追加する必要がある内容・追加している内容（5 名以上記載）

	施設数
接遇・マナー	106
業務上の責任・倫理・守秘義務など	89
認知症患者の理解・ケア（ユマニチュード）	53
コミュニケーション（報告技術、アサーションやアンガーマネジメントを含む）	22
救命措置・BLS( Basic Life Support )・AED( Automated External Defibrillator )	17
コーチング、リーダーシップ、目標管理など業務遂行にあたって必要な能力	14
身体拘束・虐待防止関係	11
社会人としての基礎力や倫理	10
防災・災害時対応（トリアージを含む）	10
医療制度、関連法規に関する基礎知識	9
労働安全衛生関係（腰痛予防、メンタルヘルス、ストレスマネジメント）	9
ハラスメント	8
褥瘡予防	8
摂食嚥下のケア・食事介助	8
医療安全・感染管理	7
排泄ケア・おむつのあてかたなど	7
日常生活やベッドサイドケアの技術研修	6
病院・看護部の目標や看護情勢の共有	5
記録や手順書作成	5
患者・疾患の理解	5
高齢者の理解・ケア	5

表 1- 85 今後の看護補助者育成方針（複数回答、n=1,253）

	施設数	割合
病院内の教育研修を充実し、育成したい	976	77.9%
病院内で看護職が看護補助者の実践を評価し、現任教育で育てたい	642	51.2%
看護職が看護補助者を上手に育成できるよう、看護職の研修を充実したい	650	51.9%
看護補助者対象の外部研修があれば活用して育成したい	742	59.2%
病院内で育成するのではなく、外部で育成された人材を採用したい	112	8.9%
その他	25	2.0%

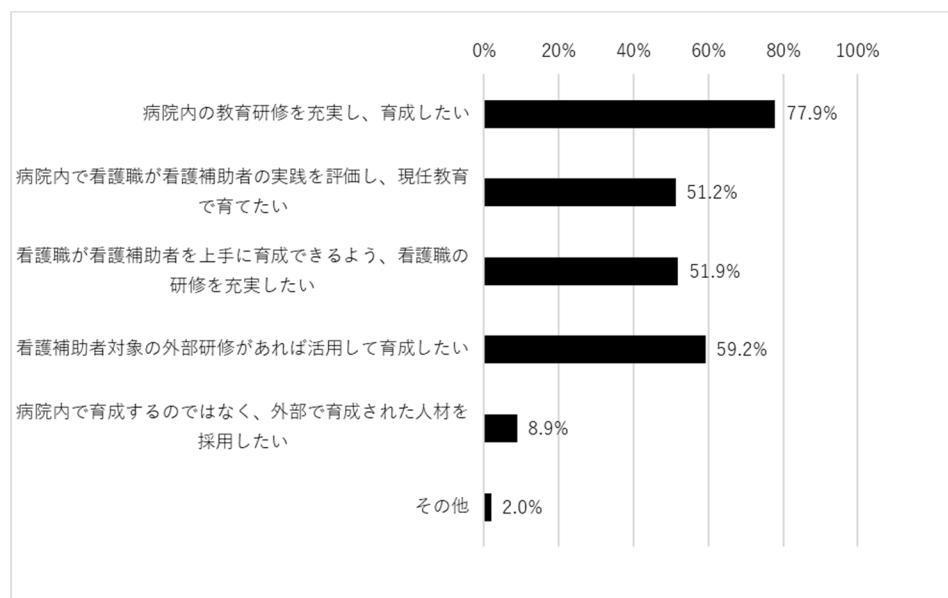


図 1- 44 今後の看護補助者育成方針（複数回答、n=1,253）

表 1- 86 看護補助者確保が困難である理由（複数回答、n=1,253）

	施設数	割合
給与が低い	986	78.7%
職業としての魅力が少ない	472	37.7%
勤務日・勤務時間の希望が通らない	119	9.5%
夜勤がある	241	19.2%
他に魅力的な職場がある	494	39.4%
その他	195	15.6%
看護補助者の確保に困難を感じていない	47	3.8%

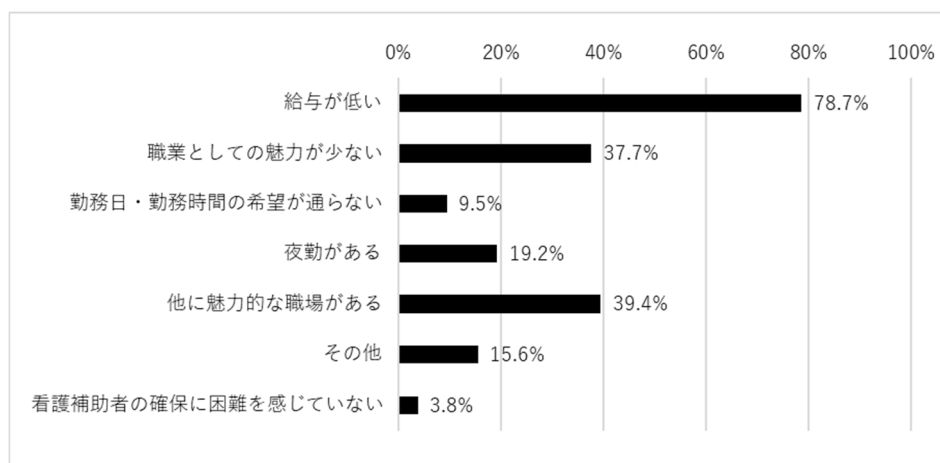


図 1- 45 看護補助者確保が困難である理由（複数回答、n=1,253）

表 1- 87 看護補助者の確保が困難な理由・その他の自由記述（5名以上記載）

	施設数
仕事の大変さ	53
雇用形態（正規職員ではない・常勤ではない）	45
補助者業務の認知不足	19
なり手の不足	16
職場での人間関係の難しさ	16
給与（低額、手当・賞与がない、能力給になっていない、定年後に低下など）	16
勤務時間（早出、遅出、夜勤）	14
介護施設などとの競合	5
医療機関の立地（市街地から離れている）	5

表 1- 88 看護補助者の定着対策 (n=1,253)

	実施していること (複数回答)		最も大切なこと (択一)	
	施設数	割合	施設数	割合
給与の充実	678	54.1%	373	29.8%
福利厚生の充実	556	44.4%	44	3.5%
勤務日数を選べるようにする	380	30.3%	36	2.9%
勤務時間帯を選べるようにする	463	37.0%	69	5.5%
希望に沿った部署に配置する	291	23.2%	12	1.0%
職場のハラスメント対策	331	26.4%	19	1.5%
正規職員として雇用する	606	48.4%	173	13.8%
看護補助者の業務内容を文書で明示する	451	36.0%	10	0.8%
上司との面談の機会を設ける	659	52.6%	82	6.5%
人事考課で能力を評価する	349	27.9%	33	2.6%
看護補助者対象の教育・研修の充実	818	65.3%	130	10.4%
資格を取れるように支援する	554	44.2%	33	2.6%
看護職と看護補助者のチームワークのあり方を明確に示す	399	31.8%	68	5.4%
看護職を対象とした看護補助者とのチームワークに関する教育・研修	320	25.5%	21	1.7%
呼び名を工夫する	126	10.1%	3	0.2%
ユニフォームを選べるようにする	148	11.8%	0	0.0%
その他	48	3.8%	10	0.8%

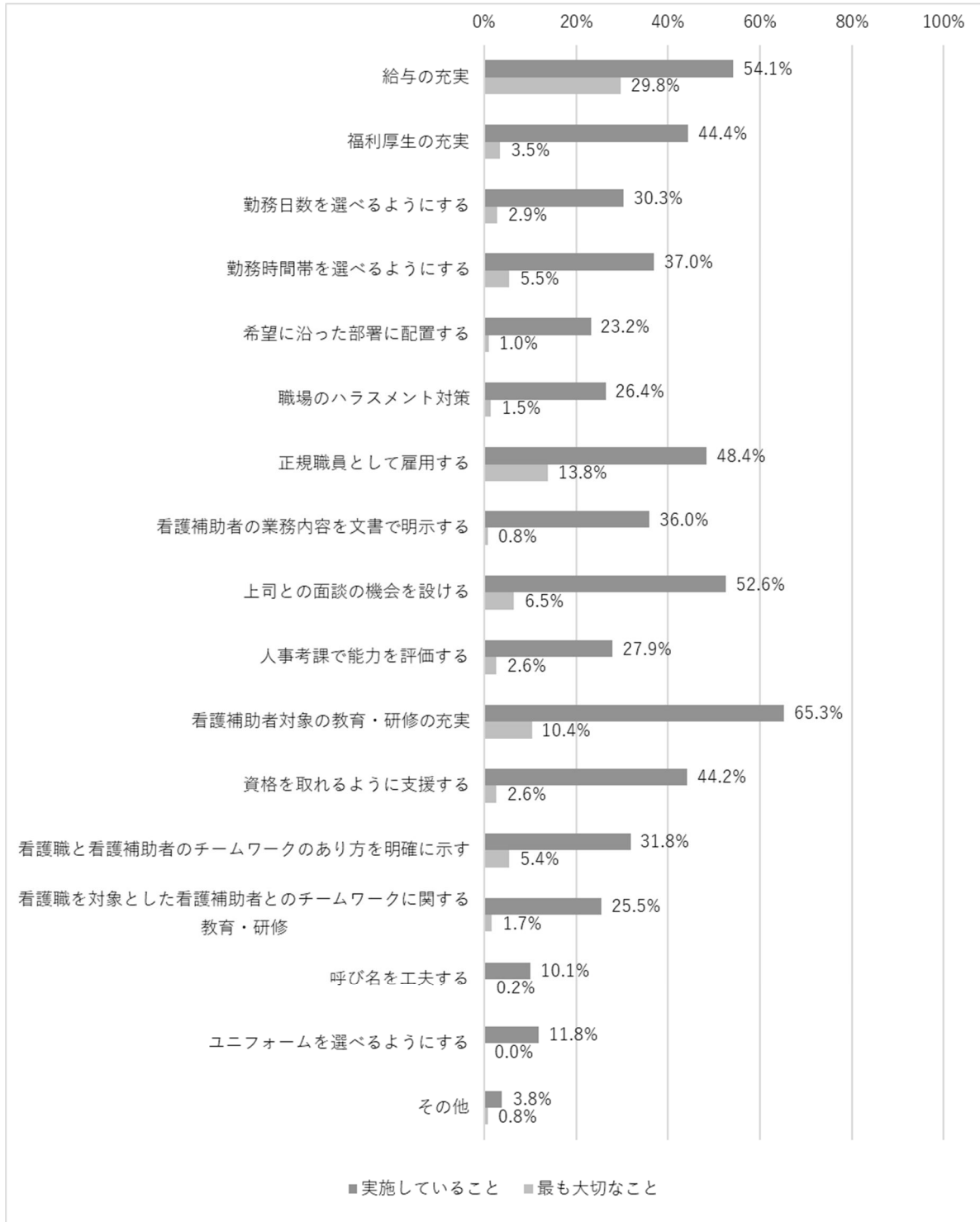


図 1- 46 看護補助者の定着対策 (n=1,253)

表 1- 89 看護補助者の確保・定着で工夫していること・その他の自由記述（5 名以上記載）

	施設数
休暇の充実、休暇取得の希望への対応	8
補助者の声や意見を聞く	7
勤務希望にそったシフト	5
看護補助者の役職者配置	5

表 1- 90 自由記述欄のまとめ 【診療報酬制度への要望】

看護補助体制加算	補助者の処遇改善、資格保有者の処遇向上のため、加算額を増やしてほしい。
	介護施設の給与と同等の支払いが可能な水準に加算額を増やしてほしい。
	地域包括ケア病棟が「みなし」が難しいのは非常に厳しい。看護師の負担軽減も必要であるが、現状の診療報酬上の看護補助者に関する規定は、補助者のなり手が少ない現状を鑑みると、もう少し緩和が望まれる。
	診療報酬で看護補助者加算ができたが基準のハードルが高すぎる。
	WLB に応じた働き方を希望する方が増えてきている。施設基準の加算を維持するには実働時間確保が必須だが実際はぎりぎりの人数で余裕がない状況である。
クランク(事務作業補助員)	事務作業補助業務を担う人材をせめて 1 部署に 1 人認めていただけるようになるとよい。
	急性期看護補助体制加算で事務作業の割合が低く、病棟配属の病棟クランクが半分も算定されないことが残念。
夜間看護補助体制加算	夜間 150 対 1、夜間 200 対 1 急性期看護補助体制加算の新設 地域包括ケア病棟の看護補助者加算 50 対 1 の新設を望む。

表 1- 91 自由記述欄のまとめ 【処遇改善の必要性】

低賃金 仕事と賃金の不均衡	業務の大変さ、責任の重さに比して、給与が低すぎる。
	給与の充実を図らないと、10 年以上勤務していた職員もやめてしまう
	現在の給与では、生計がなりたない。
	看護職全体の給与水準が低いことが問題。
介護職員処遇改善加算の影響	病院は給与面では施設にかなわないため人が集まらない。病院の現状を見て欲しい。
	介護療養型は国からの援助で介護職の給与が高く、医療保険下で働いている看護補助者は賃金が低く離職していく。補助者の地位や身分を保証し定着できるようにしたい。
派遣会社の処遇の影響	派遣会社が高い給与を設定しているために、直接病院が採用することに困難を感じている。
経営難により正規雇用が困難	非正規雇用では採用ができない
	正規雇用になれば人は集まると思うが、経営的に困難な状況である。



表 1- 92 自由記述欄のまとめ 【社会的認知を高める必要性】

社会的認知の低さ	看護補助者の仕事は、一般に認知されていない。
	社会的に好感度が高まる方策を望む。
	JRの清掃クルーのような仕事自体の中に注目されるような場や仕掛けが望まれる。
補助というイメージ	施設管理者に重要な職業であることが認知されていない。
	看護師の「補助」という名称であると、男性が集まりづらい。

表 1- 93 自由記述欄のまとめ 【職能として支える仕組みの必要性】

職能団体の創設の必要性	職能団体をつくることで地位向上につながるのではない。
	看護協会のように職能団体としてフォロー、活動できればよい
看護補助者向け賠償責任保険	看護補助者向けの賠償責任保険の構築。

表 1- 94 自由記述欄のまとめ 【採用困難とその工夫】

募集しても応募がない	給料に見合う業務内容でなく応募者がいない。
	患者のベッドサイドケアに抵抗を示す人がいる。
	近隣施設で奪い合いのような状況がある。
	新たに看護補助者の応募がなく減少している現状で、看護師業務から看護補助者業務へ移行した業務が、また看護師業務にならざるを得ない状況である。
短期間で交代する	募集をしてもなかなか集まらないため、派遣に頼らざるを得ず、短期で交代するので教育が追いつかない。
若者の採用困難	看護補助者と言う職種を、若者に選択してもらう為にはどうすれば良いかが課題。
実習の受け入れ	養成機関の実習はいつでも歓迎する。
託児施設	託児施設を充実すると採用につながるが、保育士の採用も困難である。
職員の口コミ	職員の口コミで「ママ友」などの採用につながっている。
採用前見学の実施	簡単に出来ると考え応募してくるが、実際を見て出来ないと判断する人が多い。早期の退職防止のために採用前に見学してもらっている。
看護学生の活用	夜間の看護補助者には看護学生がアルバイトで入っており、看護学生にとっても、夜間、患者がどのような不安を抱え、どのように過ごしているかを学ぶ機会になっている。
定年延長	高齢な方が多いが、やりがいと責任感を持って仕事をこなしてくれている。国や関連機関などが定年の延長を推奨してほしい。

正規雇用への変更	入職後ある条件をクリアすることで契約職員から正職員になれるよう処遇を改善した結果、離職を回避できている。
----------	--

表 1- 95 自由記述欄のまとめ 【人材の属性別の特徴】( 補助者人材について )

外国人人材	外国人の採用を視野に入れている、病院が検討している。
	外国人の活用も始まっているが、言葉、生活習慣など、対応が困難なことも多い。
	人員不足の現在で、外国の方を使用していかなくなる。そのためには、看護協会などである程度の研修をしてもらいたい。
高齢者	高齢者が多くなっている。60代にも夜勤を担ってもらっている。
	プラチナ・ナースの活用が望まれる。
男性	男性の活躍推進 特に定年退職後で体力に自信のある人などにどんどん参入して頂きたい。
ケア業務経験者	ケア業務経験者を活用していきたい。
必要な能力・適性	指示を待つのではなく、自ら意見を言える人材・体制づくりが重要。
	補助者の質向上が難しい。適性を欠く方も採用せざるをえない。
	変化を好まない方がいる(業務内容変化、ローテーションが難しい)。
	組織の一員という意識・自覚が少ない。
	社会人基礎力が望まれる。
	ケアを楽しんでいる人が良い。
	誇り、職業意識を持って働いてほしい。
	優しい温かいひとの手、笑顔を添えるひと!!
	患者さんの一番近くにおいて、ケアすることされることを知って、楽しいと感じる人が適任だと思う。
	現代社会においてなくてはならない職業であり人材である。誇りを持って働いて欲しい。あなたでなくてはならないという人が待っている。
変則勤務可能者がいない	夜勤ができる方が不足している。
	早番・遅番など変則時間の勤務者がいない。土日祝の勤務者がいない。

表 1- 96 自由記述欄のまとめ 【補助者同士の人間関係】

補助者同士の人間関係	学歴や年齢差、社会人経験がさまざまであり、関係づくりが難しい。
	雇用形態（正規・非正規）の違いもあり、不和の原因となりやすい。
	職員間のハラスメントがあるが、横の連携が強く、問題が表面化しづらい。

表 1- 97 自由記述欄のまとめ 【補助者研修の必要性】

体系的教育の必要性	統一した教育体系を望む。
	看護協会・病院会主催による研修会・講習会を望む。
研修助成金	研修の助成金を望む。
研修の充実・強化	教育・研修を充実し、それによる能力向上により、見合った地位の向上に努めたい、業務内容を拡大したい。
	勉強会や研修等を時間内で実施できるよう取り組んでいきたい。
	一人一人のキャリアアップを考えるべきである。
	看護補助者の育成の強化 ある程度同じカリキュラムで実施し、資格取得出来るようにすると、定着するのではないか。
	看護補助者の業務拡大ができる研修等を取り入れれば、看護職の業務負担軽減につながる。
	職業意識を高めるためには、外部研修や人事交流など必要と考える。
	初任者研修の受講費用を補助している。資格を取得する道が、もっと開かれれば、モチベーションを上げることが、出来ると思う。
チーム全体で協力して研修を実施	看護補助者の技術チェック表もあり、毎年自分で見直し評価をしている。技術チェック表は看護師長が確認し指導に役立っている。
	研修も年間 5 回勤務時間内に計画し実施しており、研修時は看護師が協力している。
	病院の中での医療チームの一員として意識付け・実践能力の向上を目指して研修が必要と考える。
	院内研修は看護補助者のみ対象の研修を 2 回/年実施し、それ以外の他職種合同研修等も参加できるようにしている。
経験・教育背景の違い	教育・研修が必要であるが、背景が様々であり実施が難しい。
	基礎教育が無いため、育成が大変である。
意識改革の必要性	組織の中の重要な 1 人である、ということの理解が難しいようである。その都度、OJT で説明・育成しているが・・・。
	人事考課での給与体系にした際に、個人の能力をみる基準がないと困るのでチームで

	の役割をきちんと明示する必要があると考えている。
	給与が低いこととやりがいを見いだすことができる職場であれば辞めないかなぁと思う。勉強の機会を作っても出席しない人が多いので、職業意識を持って仕事をして欲しい。
	他の医療職者のように医療現場について学んできたわけでないためイメージと実際のギャップが大きい。経験がものを言う仕事であるためキャリアの長い人の発言が強い。人材育成の仕組みが十分に構築されていない。

表 1- 98 自由記述欄のまとめ 【業務内容の課題】

患者・家族からのハラスメント	患者・家族からのハラスメントが補助者の退職につながった事例がある。
	看護補助者に限ったことではないが、患者の権利意識が強いのか患者（または家族）からのパワハラが退職に繋がることが多い。
健康管理	重労働が多く、腰痛などの健康管理対策が必要。
業務委譲	事務的業務を行う補助者への業務委譲が進んでいない。
	看護補助者に移譲していた業務も、看護師が看護業務として包括的に実施したほうが、実は効率的でもあり、効果的なこともある。

表 1- 99 自由記述欄のまとめ 【業務指示のあり方】

指示を行う看護師の育成	看護師からの口頭指示が威圧的と感じてしまうケースがあり、業務の委譲はリーダーNS 業務としている。
	指示を出す看護師が成長しなければ看護補助者の育成はできない。
	看護補助者は看護チームの大切な一員であるという看護師への指導教育が必要。
	指導する側の理解と知識の強化も必要と感じるため、相談できる、コミュニケーションが取れやすい環境を作る必要があると感じている。
	看護補助者の業務に対しての責務をきちんと理解して業務整理できる看護師を増やしていきたい。
	看護師が看護補助者を自分たちの思いのままに使おうとする傾向があり、協働意識を持つよう看護師への教育が必要。
職場コミュニケーションの改善	看護師が看護助手と一緒に協働する重要な仕事だということをいっそう理解していくことが必要。
	年配の看護補助者を若い看護師が活用しにくいなどの問題がある。
	相談できる、コミュニケーションが取れやすい環境を作る必要がある。
委譲手順書	看護師からの委譲手順書（指示書）の良好実践例を紹介してほしい。

情報共有のあり方	どの程度患者情報を伝えるか、その伝え方や情報が不十分な場合がある。
----------	-----------------------------------

表 1- 100 自由記述欄のまとめ 【補助者活用への期待】

生活者の視点を看護に活かす	治療を優先した看護ケアから、補助者の「視点」や「気づき」により患者サービスの向上につながられている。
	高齢な方が多いが、やりがいと責任感を持って仕事をこなしてくれている。国や関連機関などが定年の延長を推奨してほしい。
	患者サイドからの意見を伝えてほしい。
	若い看護職員が多い中、年配の看護助手の人生経験も重要。
	Ptの高齢化に伴い、看護補助者さんの力で助けてほしい。
看護チームの一員である	看護補助者は大切な看護職員であり、いなければ運営が成り立たなくなる。
	患者にとって看護補助者は近い存在であり、チーム医療の一員として重要である。
	今年度から夜間に看護補助者を配置するようになり、看護師の負担軽減よりも患者の安心につながっていることを実感する。ナースコールをしやすくなったという患者の声もあり、患者にとって看護補助者は近い存在であり、チーム医療の一員として重要であると再確認させられている。
看護師の努力が必要	看護補助者になりたい、と思ってもらえるようなやりがいのある仕事になるよう、看護師の努力も必要。
	看護補助者マニュアルで補助者の役割・業務内容を明確にしている。また、看護補助者も看護手順を共有している。
	看護補助者が普段の業務で困っていることを聞き逃さず拾いあげて働きやすい業務へのサポートし、その変化を評価していくことが大切。人間関係も自然と良くなる。
	患者さんの日常生活の援助だけでなく、看護師と連携をとりながら看護補助者の業務範囲を広げていけるように働きかけていきたい。
	せっかく定着しても、ケアワーカーが「看護チームの一員である」ということを実感できるよう活用できていない現状がある。現場の看護管理者をはじめ、看護師がケアワーカーの役割・責任等について理解し、多職種カンファレンスなどにどんどん参加できるようにし、看護チームの一員であることを自覚できるよう体制強化し、看護の質向上につながることを課題である。

表 1- 101 自由記述欄のまとめ 【看護補助者のやりがいを支える】

相互理解を深める	看護師と看護補助者が、いかに相互理解を深め、業務分担し、チームワークが円滑にいくかを課題に取り組んでいる。働きやすい職場作りに取り組み、定着対策を丁寧に行って結果がでてきた。
	部署ごとにスタッフから感謝のメッセージカードを送らせていただきモチベーションアップに努めている。
	看護補助者も意欲的に働ける職場環境の整備のために、補助者のリーダー育成や補助者同士での教育指導体制を作るなど意見や話し合いができる場を多く持つ。
	今後も、入院患者の看護、支援をより良いものにするためには、看護補助者の力は無くならないことを補助者各自に認識してもらい、業務の推進に努めてもらう。
会議で発言機会をつくる	病棟会議の参加、看護補助会議の継続も意見が言いやすい場になってきた結果、定着に繋がってきた。
優れている人を評価する	看護補助者の優れている人を評価し、やりがいにつなげられるようにしている。看護師だからとか補助者とのこだわりではなく全員スタッフの評価を重んじている手法で認め合える文化に努力しています。
	人事考課により「頑張った人は評価」している。今後は、看護補助者の給料体系の見直し、リーダー手当なども検討していく。
やりがいを支える	看護師もそうであるが、補助者の業務も患者さん家族にとって意味があり必要とされていることを看護師や補助者の先輩が語り伝え遣り甲斐感が持てるように意図的にかかわる必要がある。
	働き方改革の提言を取り入れて、給与アップと福利厚生の充実を図りたい。日常生活の援助だけでなく、レクリエーションの企画を任せるなど動機づけもしっかりやっていきたい。
	看護師からの指導ではなく、看護補助者自らが患者・家族に生活指導等行うようになると、仕事がやりがいにつながり定着できると考える。
	施設と病院で活躍できる範囲が異なることで、病院内で能力が十分に発揮できないと感じている看護補助者も多い。看護師の依頼を待つような責任が伴わない仕事をしていると、楽だがやりがいにつながらない。
	実務研修、資格取得などキャリア支援もあることもケアワーカー定着につながっていると考える。
名称・位置づけの変更によるイメージ改革	他の医療専門職と同様にケアワーカーCWと呼称・表記している。
	患者さんの生活を一番身近に支えている職種であるため、「ライフケアワーカー」に名称を変えてほしいと、看護補助者から要望があった。

	看護助手からケアアテンダントに変更した。
	看護補助者、看護助手という名称では応募がなく、外来・病棟アシスタントと表示すると応募がある現状。
	看護補助者からケアサポーターへ変更 ケアチームの一員であることを明確にしている。
	結局ケアワーカーに決まったが、4 候補から呼び名を選んで決めてもらった。
	以前、看護助手と呼んでいたが、「助手」という表現に抵抗を感じる職員が多かった。ケア中心の看護補助者をケアワーカー、清掃中心の職種を清掃員 サービス中心にケアする補助者をコンシェルジュとし、それぞれの特殊性を生かしたケアを行ってもらっている
	補助業務ではなく、職業として自立したものであると考えていることを伝える。かつてのイメージを払拭する。
	募集要項はアシストナースとしている。若年層は、看護補助者というよりはアシストナースの呼び名の方が業務をイメージしやすいのではないと思われる。
	「看護補助者」という名称は、どうしても看護師の下働きのイメージが強く、自立した職業と考えにくい。改めて名称も公のところから考えて欲しい。

表 1- 102 自由記述欄のまとめ 【資格化】

看護補助者を資格化	資格制度、免許制度が必要と考える（プロ意識を持ってほしい）。
	急性期病院の看護に特化した補助者の資格制度、例えば、見取りができる。夜間の緊急入院の対応等。
	資格を持つことで、仕事の充実、仕事への意欲につながると考える。

表 1- 103 自由記述欄のまとめ 【IT の導入】

IT の導入で人材不足をカバー	一人前教育しては退職されてしまう。看護補助者自身の高齢化もあり、長く働くことが難しい。体力が続かない。IT の導入 機械の導入も必要かと思う。
-----------------	---